

令和7年度
市民と語る会報告書

令和8年3月
庄原市議会

令和7年度 庄原市議会市民と語る会報告書 目次

1. 開催趣旨	1
2. 実施結果(開催日時、場所、参加者数等)	1
3. 意見交換テーマ	2
4. 班編成	3
5. テーマに対する懇談内容	
(1) 井戸端スタイル	4
(2) 自治振興区	11
6. 意見交換	46
7. 議会に対する意見・要望	51
8. 執行者に対する意見・要望	52
9. 市民と語る会の検証結果	54

※本報告書における内容は、議員が構成する各班により取りまとめられた報告書に基づき作成しています

1. 開催趣旨

庄原市議会は、庄原市議会基本条例第5条第3項及び同条第6項の規定に基づき、「市民と語る会」（以下、「語る会」という。）を開催する。開催にあたり、「庄原市議会市民と語る会実施要綱」（以下、「実施要綱」という。）に規定するもののほか、次の3項目を基本的な考え方とする。

- （1）語る会は、議会が持つあらゆる情報を直接市民に提供し、情報を共有することにより、市民の市政運営に対する関心をより高め、市民参加による議会運営をめざすものである。
- （2）議会活動や議会運営に対する市民の意見や要望、提言などを直接聴取し、政策提言に反映していくことにより、市民生活に真に資する議会をめざすものである。
- （3）議員は一部の地域や職域を代表するのではなく、より大所高所から物事を判断することが必要であり、議員自らの見識を高めなければならない。

2. 実施結果（開催日時、場所、参加者数等）

（1）井戸端スタイル

NO	申込者名	開催日	開催時間	会場	担当班	参加者数
1	議員さんと語る会	11月15日（土）	13：30～15：30	庄原駅舎地域交流室	4班	13人
2	庄原の人口問題を考える 民間会議	11月25日（火）	13：30～15：30	庄原自治振興センター	2班	6人
3	市くらぶ	1月29日（木）	18：00～19：00	市町横造改善センター	4班	9人
合 計						28人

（2）自治振興区

NO	地域	地区	開催日	開催時間	会場	担当班	参加者数
1	庄原	庄原	11月11日（火）	19：00～21：00	庄原自治振興センター	4班	35人
2	庄原	峰田	11月19日（水）	19：00～21：00	峰田自治振興センター	4班	12人
3	庄原	敷信	10月31日（金）	19：00～21：00	敷信自治振興センター	3班	15人
4	庄原	東	11月4日（火）	19：00～21：00	東自治振興センター	1班	17人
5	庄原	北	11月5日（水）	19：00～21：00	北自治振興センター	3班	14人
6	庄原	山内	10月16日（木）	19：00～21：00	山内自治振興センター	1班	9人
7	庄原	本村	10月28日（火）	19：00～21：00	本村自治振興センター	2班	11人
8	庄原	高	11月4日（火）	19：00～21：00	高自治振興センター	2班	11人
9	西城	西城	10月10日（金）	19：00～21：00	西城自治振興センター	3班	32人
10	東城	小奴可	10月24日（金）	19：00～21：00	小奴可自治振興センター	4班	25人
11	東城	八幡	10月21日（火）	19：00～21：00	八幡自治振興センター	1班	12人
12	東城	田森	11月7日（金）	19：00～21：00	田森自治振興センター	1班	35人
13	東城	東城	11月21日（金）	19：00～21：00	東城自治振興センター	2班	25人
14	東城	帝釈	10月21日（火）	19：00～21：00	帝釈自治振興センター	2班	30人
15	東城	久代	11月11日（火）	19：00～21：00	久代自治振興センター	3班	8人
16	東城	新坂	11月21日（金）	19：00～21：00	新坂自治振興センター	1班	12人

17	口和	口和	10月27日(月)	19:00~21:00	口和自治振興センター	4班	14人
18	高野	高野	11月17日(月)	19:00~21:00	上高自治振興センター	2班	15人
19	比和	比和	10月21日(火)	19:00~21:00	比和自治振興センター	3班	6人
20	総領	総領	10月15日(水)	18:30~20:30	総領自治振興センター	1班	29人
合 計							367人

※西城地域は西城自治振興区、八銚自治振興区が合同で開催

※高野地域は上高自治振興区、下高自治振興区が合同で開催

(参考) 年度別開催状況

年度	期間	開催時間	会場数	参加者数	班数
令和3年度	令和3年11月1日~17日	19:00~21:00	21	振興区 382 団体 15 合計 397	4
令和4年度	令和4年11月1日~18日	19:00~21:00 (18会場) 18:30~20:30 (3会場) 13:30~15:30 (1会場)	22	振興区 329 団体 6 合計 335	4
令和5年度	令和5年11月2日~ 令和6年2月14日	19:00~21:00 (22会場) 19:10~21:10 (1会場) 18:30~20:30 (2会場) 13:00~15:00 (1会場) 13:30~15:00 (1会場) 13:30~15:30 (2会場) 12:30~13:30 (1会場)	30	振興区 318 団体 91 合計 409	4
令和6年度	令和6年7月12日~11月22日	9:00~10:45 (2会場) 13:30~15:30 (2会場) 14:00~16:00 (1会場) 18:30~20:30 (2会場) 19:00~21:00 (12会場) 19:30~21:10 (1会場)	20	振興区 308 団体 32 合計 340	4

3. 意見交換テーマ

(1) 井戸端スタイル

NO	申込者名	テーマの内容
1	議員さんと語る会	・第3期長期総合計画について、農業政策について、日鉄呉跡地問題について
2	庄原の人口問題を考える 民間会議	・庄原市の人口減少、特に若者と子供の激減対策について
3	市くらぶ	・限界集落を語ろう

(2) 自治振興区

NO	地域	地区	テーマの内容
1	庄原	庄原	・儲ける地域づくり
2	庄原	峰田	・安全な地域づくり、市民生活の安全確保
3	庄原	敷信	・共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」
4	庄原	東	・地域づくりと自治振興区のあり方
5	庄原	北	・10年先の庄原市を見据えて
6	庄原	山内	・有害鳥獣対策等
7	庄原	本村	・地域のこれからを語ろう
8	庄原	高	・地域のこれからを語ろう
9	西城	西城	・共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」
10	東城	小奴可	・庄原市の未来を語ろう
11	東城	八幡	・各議員のこれまでの一般質問を含めた取り組み内容についての質疑応答等
12	東城	田森	・安心安全な地域づくり等
13	東城	東城	・東城のまちづくり等
14	東城	帝釈	・自治振興区のあり方、地域交通、農林業等
15	東城	久代	・防犯対策、有害鳥獣対策、観光振興と施設整備
16	東城	新坂	・共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」
17	口和	口和	・議員、議会へ望むこと
18	高野	高野	・地域交通、定住施策等
19	比和	比和	・共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」
20	総領	総領	・コンパクトシティ、自治振興区職員の処遇改善等

4. 班編成

班名	代表者 (班長)	構成員	担当(井戸端スタイル)	担当(自治振興区20会場)
1班	近藤 久子	福山 権二 五島 誠 宇山 茂之 青山 学		東, 山内, 八幡, 田森, 新坂, 総領(6会場)
2班	横路 政之	桂藤 和夫 前田 智永 岡野 茂 木山 義仁	・庄原の人口問題を考える民間会議	高, 本村, 東城, 帝釈, 高野 (5会場)
3班	谷口 隆明	徳永 泰臣 國利 知史 桜田 亮太 堀内 富夫		敷信, 北, 西城, 久代, 比和 (5会場)
4班	吉川 遂也	松本みのり 松森 潤平 堀井慎一朗	・議員さんと語る会 ・市くらぶ	庄原, 峰田, 小奴可, 口和(4会場)

5. テーマに対する懇談内容

(1) 井戸端スタイル

NO. 1 議員さんと語る会

テーマ：第3期長期総合計画について、農業政策について、日鉄呉跡地問題について

参加者意見	議員意見
第3期長期総合計画について、8月に市長懇談会があったが、街路樹の伐採の話だけであった。現在の進捗状況はどうか。	第3期長期総合計画については、現在、検討中である。3回にわたり市民ワークショップを開催しており、年内に一度所管課から説明があると聞いている。
1期2期の反省点を踏まえて進めてほしい。市の所有施設の維持管理や財政状況も含めて公報してほしい。HPだけでは伝わらない部分があるがどうか。	市の公共施設については、第3期長期総合計画に合わせて、建設計画も変更していく予定である。市民から使える施設は残してほしいという声を聞くが、市民と議会、行政としっかり協議をしていきたい。
1期2期がどのようなもので、どのような検証を行ったのか教えてほしい。	長期総合計画なので、基本的にはすべての枠を網羅している計画である。3期長期総合計画については行政側も1期2期を踏まえて策定されている。
第3期長期総合計画はいつまでに策定されるのか。	本年度中を予定している。
策定について、問題点を広報してもらわないと市民に伝わらない。市民がわかるような形での広報をすることで市民も市政への関心が高まると思うがどうか。	市民ワークショップも3回実施しており、広報とHPで情報を公開している。若い方の参加も多く、議員として参加もできる。行政としては市民の声を反映できるような仕組みをとっている。
以前は市長と市民が語る会があった。現在は執行部と話をできるのが限られた人という印象を持っている。自由な意見交換をできる場を設けてほしい。	新市長になり、市民と語る機会を設けている。先日は子育て世代の方と市長室での意見交換の場があった。
樹木の倒木により、けが人がでる。交通が止まることがあったが、その辺の計画は入っているのか。	長期総合計画に紐づく、実施計画の中で道路維持については検討される。
庄原市の基盤産業は農業であると認識しているが、近隣の田んぼは担い手が少なくなってきた。庄原市は農業政策についてどのような見解をもっているのか。	令和8年度から農業振興計画がスタートしていく予定である。農業基本法についても改定がなされたところで、今後は多様な担い手により農地を守っていくという方向に進んでいる。成長型の農業と地域継承型に変わっていくのではないかと考える。
食料自給率が38%であるが、食料安定保障は大丈夫なのか。	田んぼの多面的機能に対する交付金や中山間地域直接支払交付金を活用しながら食糧生産基盤の維持に努めることになる。環境的なものを含めて、国も推進していくのではないかと考える。
農業従事者における庄原市の制度はあるのか。	庄原市ががんばる農業支援事業という補助制度がある。
日鉄呉跡地問題について、防衛相が複合防衛拠点として進めているが、議員としてどう思っているのか。	庄原市政に関わる部分ではないので、原則としてお答えすることができない。
市職員の退職者について、退職者が多いことが気になるが、現段階で考えていることを教えてほしい。	転職者も多く、国として労働力の流動化も施策として進めている影響も少しあると感じる。庄原市においては、採用枠の年齢上限を上げる取り組みやフレッシュャーズ枠、公務員枠という部分で間口を

	<p>広げている。</p> <p>地元採用枠や臨時職員を正規職員へと変えていけるような制度も提案したいと考えている。</p>
退職者の退職の原因について、どう考えているのか。また改善点があったのか。	原因については、人間関係や事業の関係と考えている。改善点については、以前は復帰後も同じ課への復帰が原則だが、違う課へ移動したという取り組みもある。
勤めたいがやめる職員、家庭環境の問題、定時での帰宅ができていないのか。	課長が聞き取りを行うということになっているが、所属の課長ではなく、専門の部署を作っていくという取り組みも必要だと感じる。
テレビの共聴アンテナについて、老朽化でどうにもならない。補助金があるのか。	企画課所管で検討をしている。課題は共聴アンテナを撤去する費用がかかる。デジタル化にむけて具体的な検討をしている。

NO. 2 庄原の人口問題を考える民間会議

テーマ：庄原市の人口減少、特に若者と子供の激減対策について

参加者意見	議員意見
<p>総論・哲学が地域づくりには大切、各論より大局的な議論が必要で、そのことが個別課題を埋めていく、持続可能な地域づくりに繋がる。</p> <p>明石市は、まちづくりの哲学を高齢者・子ども・子育てに重点を置く方向へ大転換し成功している。庄原市は高齢者が多い中、ホームページに掲載しただけでは情報は伝わらない。高齢者を大切にしながら子育て支援と教育の振興に本気で取り組む草の根の活動が必要。</p>	<p>子どもの人口が減っている。成功している先進地に学び地域づくりに取り組む、これからの庄原市のまちづくりの方向性を決める長期総合計画が、現在策定されている。こうした計画もしっかり見てこれからの庄原市を考えて欲しい。</p>
<p>北自治振興区に所属している。人口問題は何処も抱えている課題、何か歯止めになるものがあれば成果が出る。元気な高齢者の活躍、若者定住、出生率を上げるなど。川北は「ゆめの学校」に12名、これから8名、小中一貫校をめざしている。こうした活動がポイントとなる。継続的な取り組みが重要だ。</p>	
<p>観光資源である国営公園を庄原市がどう活かしていくか、冬のイルミネーションには多く人が訪れている。</p>	
<p>備北交通に勤務している。備北交通は地域が発展すると会社も発展するとの考えで地域づくりに取り組んでいる。そのひとつが電動レンタサイクル事業、DMOから10台の電動自転車を借りることができたので、それを活かすためMAPとサイクリングコース4コースを作った。信号機やトイレなどの情報をQRに入れている。地元の昔話や乳団子の出来た話なども入れている。バスや列車からのアクセスが大事。自転車で地域をめぐって欲しいと取り組むがお金がない。身銭を切っているが、企業としての成果も問われる。</p>	

<p>小学校の教育、ある特定の学年の学力が落ちている。2・3年の基礎学習が充分に出来なかった。担任の先生が休みがち、市としても休みがちな先生をフォローする教員が確保できないか考えて欲しい、教育はとても大事だ。</p>	
<p>高校生が減っている。庄原へ残ってもらえるような支援が必要。庄原市から高校がなくなる危機感を持っている。教育の環境づくりが必要、先生たちも疲弊している。地域を頼る、高齢者を頼るなど連携が大事。</p>	<p>高校生世代の総数から30歳から39歳までは半分になっている。教育移住する者が多い、若者支援や教育移住をどうにかしないと学校教育が上手くいかない。教育資源や環境は充実していると考え、若者に選ばれる庄原市でありたい。</p>
	<p>長期総合計画で考えることは、新たな大規模プロジェクトは取組みにくいと考える。今ある本市が有する資源をブラッシュアップして活用することが重要。人口が減ると経済のパイも小さくなる。例えば庄原市の観光交流施設全体を年次的に改修し、ブラッシュアップして収益力を高める取組みなど、庄原市が有する資源を見直しブラッシュアップしていく取組みが重要。</p> <p>さらには、人口減少で人材の不足が深刻、例えば介護保険制度はあってもサービスを行う人材がいらないなど、全ての産業で担い手が不足している。</p>
	<p>農業を盛り上げて行きたい20歳から29歳の若者が庄原市から出て行く。農業の担い手がいなくなっている。若者が魅力を感じる儲かる農業を国、県へも働きかけ市として確立していきたい。地元帝釈で観光客が落石事故あり、秋の観光シーズンにもかかわらず立ち入り禁止となっている。県が所管しているが地元も関わる必要がある。</p>
	<p>まちづくりは人材の育成、人づくりが重要。地域づくりには人材が必要だ。農業も林業も担い手を育て、積極的に振興していかなければならない。広島県の食料自給率は低い、食料輸入県となっている。新しい広島県知事は農林省出身、パートナーは林野庁勤務、県の主要農業地域である庄原市は、これからの農業・林業施策に期待している。しっかり我々も国県に要望していきたい。</p>
<p>新しい市長のもとで長期総合計画がめざす将来像へむけて、みんなで盛り上げていきたい。</p>	
<p>備北交通で「庄原まるごとプロジェクト」を行っている。県大生にも手伝ってもらい、庄原の資源を活かし庄原の歴史や昔話などを通じて子どもたちに庄原市に興味を持ってもらいたいと歴史に詳しい庄原自治振興区地域マネージャーの奥田さんから話を聞いて、子どもたちが紙芝居を創作する活動をしている。子どもたちが自ら絵を描くことで記憶に残る。庄原駅にデジタルMAPが欲しい、子どもたちの紙芝居もQRで見えるようにしたい。</p>	

<p>第2期の長期総合計画は10年で終わった。また庄原いちばんづくりの計画も終わったが進捗管理がされているのか？市長が変わり新しい計画を作っても同じだ。議会・議員はどのように考えているのか。進捗管理がない。</p>	<p>究極的に本当に長期総合計画が必要なのかと思う。</p> <p>市の内部、職員には市の目標となる長期総合計画は事業を推進する上で、目標となるので必要だ。また、事業の目標数を掲げ、進捗管理も毎年行っている。</p> <p>企業にとって目標となるもの、そのためのビジョンとミッションが必要。市も目標となるものが必要だと思う。また、決算委員会等で進捗状況を確認している。</p>
<p>出来てからでは遅い、議員は最初から計画策定に参加する必要がある。議員もろくな質問しかないし、市当局の答弁もろくな答弁がない。</p>	
<p>本気が大事、本気で取り組んでいるが問われる。</p>	
<p>市が考えている方針を議論するより具体的な目標達成のため、どうしていくかを考える必要がある。市民が同じ方向で進んでいくことが大事だ。</p>	
<p>市の計画は抽象論ばかりで具体的な内容がない。</p>	
<p>計画では具体的な目標を掲げるべき。長期総合計画でもワークショップをやって計画を作ると良い。</p>	
<p>議会だよりは100点、市政だよりは100点だと思う。がしかし市長の思いが伝わらない。何をしたいかわからない。</p>	
<p>市民の側も市政に興味をもたないのが悪いのかもしれない。だから余計情報が伝わらない。</p>	
<p>情報が伝わらないのはコミュニティが希薄になっている面もある。</p>	
<p>北自治振興区は住民運動会を毎年、開催されている凄いと思う。住民のコミュニティが深まる。また、備北交通は子どもたちや県大生と一緒に地域を知る活動「庄原まるごとプロジェクト」に取り組んでいる。子どもたちが地域を知ってくると庄原市に愛着を持つ。そうした具体的な取り組みの積み重ねが人口問題にも寄与することになる。</p>	
<p>草の根の運動が大事、市民総動員、我慢するという精神論は必要</p>	
<p>選挙結果を知りたいと思ったことをきっかけとなり利用するようになった。</p>	<p>皆さん庄原市のLINEを知っていますか？</p>
<p>庄原市のイベントを知るのに便利。市の主催行事、後援行事しか載せないのか？</p>	
<p>議員に地域住民も期待している。先のことは分からないが庄原市を活性化して欲しい。</p>	
<p>丘陵公園の「里の駅ふらり」を充実して欲しい。</p>	

<p>国・県の補助金を積極的に取って欲しい。庄原市と同じ目標に向かって、備北交通もビジョンを掲げミッションを達成していきたい。市長の「つなぐ」をキーワードにして、点から線へ同じ目標に向かって産学官民が協力してまちづくりに取り組みたい。</p>	
<p>議員も計画づくりに積極的に参加すべきだ。国営公園をどう活用するのか。ラ・フォーレ庄原も閑散としている。議員の突っ込みが弱い。</p>	
<p>具体的でリアルな意見が出ている。その声を市政に体系的に反映させるのが議員の仕事だ。この閉塞感を新しい議員・市長に打破してもらおうことを期待している。殻を破って挑戦する市長・議員の頑張りに期待したい。ふるさとを再生する市民が躍るような取組みが必要。議論だけに終わることのないよう行動して欲しい。</p>	
<p>人口問題は大きいテーマ、益々厳しい状況を迎える。市民に危機感がない。議員は四半期に一度は報告会を開いて欲しい。市民と語る会や議員の一般質問も成果が出ていない。</p> <p>合併して20年、成果が全く出ていない。深掘りしない取組みが多い。これから厳しい状況を迎えるが、我々も一緒に頑張りたい。</p>	

NO. 3 市くらぶ

テーマ：限界集落を語ろう

参加者意見	議員意見
<p>消防団の格納庫周辺の管理、維持について、市道から格納庫へつながる道の草刈りが大変であり、コンクリートを打ちたい。以前、消防団と自治会長で協議をしたが、建物の助成金はあるものの、施設周辺にも使えるような助成にしてもらいたいと思うがどうか。</p>	<p>格納庫の土地が市のものであるか、財産区のものであるか、という部分で違ってくる。他地域の事例だが、市の所有地であれば市が管理するというのが普通であり、財産区のものであればそこが管理する必要がある。整理がよく分からない部分があるが、所管課へ確認をする。</p>
<p>格納庫の屋根が破損したとき、自治会の予算で修繕した例もあり、消防団の施設なので、できれば市に管理してもらいたい。</p>	<p>建物自体は市が管理するのが普通であると考えているが、事実関係を確認する。</p>
<p>牛を飼っている農家が3戸あり、1人で飼っているところもある。病気や都合が悪いとなった時、和牛ヘルパーを派遣してもらえような制度はないのか。</p>	<p>和牛ヘルパーの制度はあるが、改良組合ごとで事業をされているのではないかと認識している。それに対して市が助成していると認識をしている。</p>
<p>個人で頼めばいいのだが、公のものがあれば助かる。庄原市全体の和牛部会でもそのような話が全然出てこない。高齢で牛を飼いたくても飼えないという事例も聞くので、このような制度があればもっと飼いやすくなると感じる。</p>	<p>市ができる範囲では、農協さんの畜産が行うのか、地元の改良組合が行うのか、知人が行うのかとなってくるが、比婆牛の協議会でも年に1度会議をしており、生産者への支援という形で話ができればと考える。</p>

	<p>全国的に4,000戸の牛生産農家が減っているという現状もあり、今後子牛価格の上昇が見込まれる。全国的に枝肉の価格が上がっておらず、肥育農家が苦勞している。飼料の高騰対策をやるかどうかは検討中であり、何かの方法で経営支援ができるよう考える必要がある。</p>
<p>比和科学博物館や口和郷土資料館は、もっと磨けば良くなり、子供や観光客を呼べる施策につながるのではないかと感じる。口和郷土資料館は、古い蓄音機などがきれいに展示されており、機械が好きな人には特別な場所であると感じる。もっとPRを行って観光施設に磨きあげてほしい。</p>	<p>市でも改修をしているが、予算が厳しいという面もある。市の予算だけではなく、クラウドファンディングやふるさと納税といった新しい財源を確保も検討すべきとは考える。</p> <p>庄原自治振興区でも同じような話がでた。大沢木工には、まだ展示しきれっていないクジラの化石がある。整理して展示できるような方向にもっていけると、観光客などの外貨獲得に向けた施策も展開できると感じる。</p>
<p>全国的に見ても魅力がある施設だと聞いている。庄原市に住んでいる人自体が理解していない。もっと発信するべきだと感じる。</p>	
<p>地域にはたくさんの宝が残っている。西城や総領にたくさんあると聞く。全地域のをまとめてきれいに展示するという方法もあるがどうか。</p>	<p>セキュリティの問題もある。宣伝すればリスクも生じる。</p>
<p>資料館は誰が維持しているのか。人材の維持、建物の維持、行政が関わっている部分はあるのか。</p>	<p>後継者も高齢であり、建物の維持については行政が関わって行っている。</p>
<p>対策をしないと自然淘汰になってしまう。援助や今後の在り方について、議員もしっかりと役目を担ってほしい。</p>	
<p>庄原市の職員が1～3年未満で退職される方が多い。業務量の問題や人間関係の部分が厳しいと聞いているが、交渉役場という形をとり、業務の簡素化を進めてみてはどうか。</p>	<p>業務の簡素化という部分で庄原では、コンビニで納付できるようなシステムも導入している。</p> <p>退職理由についての明確な答弁はなかった。入職から3年未満で若い方が退職されるケースが多く、若い方が退職されるというのは新陳代謝ができていないという課題も市も認識している。</p> <p>2026年4月からの採用については、受験資格を広げて、採用基準の間口も広げている。現状で4月からの採用人数の報告はないが、引き続き採用人数、採用体制がどうなっているのかを聞いていきたい。</p> <p>民間に仕事をおろしてという部分については、民間に任せる幅を広げている。コンビニに行くにも遠い方もいらっしゃるの、自治振興区でもできるような制度を進めたい。</p>

<p>民生委員と行政が身近になったほうがいい。高齢者の見回りについては、民生委員だけでは限界がある。地域と行政、民生委員が手を組んでやらないといけない。業務量が多く、メンタル的にも厳しい部分もたくさんある。50代60代の方になってもらえるような形にしてほしい。</p> <p>また介護保険についても、払っているが全然使っていない。見直しをかけることができないのか。介護の大変さは本人にしか分からない部分があり、介護施設の賃金をあげるような検討もしてほしい。</p>	<p>介護分野の賃上げについては、国の施策で進んでいるところあるが、基本的に点数で整理をされている。</p> <p>ソーシャルワーカーという仕事があるが、困りごとを解決するための仕事に就く人がたくさんいる。しかし、今後人口が減っていくなかでもっと厳しくなると認識している。一人暮らしと認識をしても引きこもりの可能性もある。不登校であれば学校教育での管理ではあるが、社会に出たあとでは名簿すらなくなってしまう。その部分を民生委員だけで担えない。システム自体を変えていく必要があると感じる。</p>
<p>女性の民生委員から、家庭訪問が怖いという話を伺ったことがある。そうなると担い手が少なくなる。地域包括センターのみならず、地元にもそのような施設を作っていくべきだと感じている。</p>	
<p>食彩館しょうばらゆめさくらの朝どり市について、生産者が減っており、昼になると品物が少ない。品物を増やす努力もなければ、生産者を増やす努力もない。集荷率があがるような仕組みを新しく作ることにはできないのか。道の駅たかのはいつでも品物が揃っており、真似することができないだろうか。</p>	<p>施設の管理は指定管理者制度となっており、店舗はテナントを募っての形となっている。何年も前からの課題となっており、出荷者協議会へも投げかけをしているが、中々改善されない。十分に品物が揃っている施設に変えていく必要がある。</p>
<p>ゆめさくらは、道の駅になるのか。</p>	<p>現状、そのような話は聞いていない。道の駅にするには、24時間トイレができる仕組みにする必要がある。</p>
<p>品物が少ないと観光客も来なくなり、魅力低下につながる。観光バスは夕方に来ている。管理者の選定も考えるべきでは。</p>	<p>市場原理を理解できていない。道の駅たかのはしっかりと品物が管理されており、出荷者に対しても心構えが違う。市からどうこうというよりは、内部から変えていく必要があるのではないかと。管理する業者がしっかりとしたルートを持ち、いろんな場所から集荷できるような仕組みにしていかなければならない。</p> <p>今後、農家、出荷者が減るという中で、農業振興計画も現在作成中である。これまでは大規模化に対する支援が多かったが、これからは多様な担い手に進めてほしいという方向性になるので、兼業や中小農家にもどんどん光が当たってくる。その中で、生業として農業をされている方にちゃんとした支援が出てくると思う。それを起爆剤に、道の駅や朝どり市が賑わうことに期待したい。</p>
<p>農業新聞に補助金の関係の記事が出ており、2月が締切りであったら、申請が間に合わないと所管課に言われた。国の補助金ではあるが、窓口は地方自治体になる。早めに情報の伝達をお願いしたい。</p>	<p>国の物価高騰支援対策として庄原市のキャッシュレスカード「ほろか・なみか」に住民1名に対して1万円が交付されるが、残高が2~3億円程度ある。いろんな使い道がある中で農業関連のものを推進していきたい。</p>

<p>市道法面をイノシシが荒らし困っている。市が修繕をしてくれるのか。</p>	<p>市が管理している法面であれば市が管理するが、市も完全に所有部分を管理できていない状況で、危険度によっては優先度が違う可能性がある。</p>
<p>市道の維持管理について、なぜ市道の草刈りをやらないといけなのか。高齢化でやり手がいない。昨年から一振り15円になっており、基準をどのように出したのか。県はアダプトを推進しており、市はなぜ1メートルあたり15円という基準で行っているのか。</p>	<p>市道は法律で草刈りなどをすると決まっている。業者に頼むとかなりの財源がかかり、他のサービスができなくなるということでもある。そうなると自治振興区やボランティア、地域の方をお願いをせざるを得ない。メーター18~20円ぐらいで発注している団体も少しずつ増えてきた。若い人たちが刈っている任意団体も増えてきている。</p>
<p>支障木について、自治会長に言って、建設課にも言ったが、予算がないとの答弁だった。実際はどうか。高齢になると管理ができない。</p>	<p>支障木については、森林環境譲与税を財源として随時進めている。また、除雪をする際に撤去をする場合もある。秋のうちに支障木を撤去するが、危険度に応じて対応している。しっかりとした根拠と事実関係を出して、申請をしてください。</p>

(2) 自治振興区

NO. 1 庄原地域庄原地区

テーマ：儲ける地域づくり

参加者意見	議員意見
<p>遺跡の文化財について、庄原市には研究されていない古墳や遺跡がたくさん眠っている。文化財をしっかりと研究し、発掘を行えば観光客を呼べるのではないかと。街の活性化を行うためには埋蔵物を発掘するような施策はできないのか。熊野神社もあるがまったく活用できていない。PRをする体制をしっかりと整えるべきだと考える。</p>	<p>文化財保護だけでなく、活用していこうというのは存じている。庄原市には自然や文化、たたら製鉄など資源がある中で、文化財については、生涯学習課の管轄であるが、観光面は商工観光課ということになるので、業務を分担する形が望ましいと考える。</p> <p>庄原市のイベントは一過性のものが多く、ハイシーズンとオフシーズンの観光客の差が激しいと感じる。個人の食堂や飲食店などは人材不足のため、継続が難しいところがたくさんあり、いかにしてハイシーズンとオフシーズンの差を埋めることが重要だと考えている。また、観光というのは行政だけではやっていくのに限界があり、民間にも協力体制が必要。</p> <p>佐田谷・佐田峠墳丘墓は、歴史的に見ても素晴らしい場所だと思う。時悠館には学芸員がいるが、その他の学芸員が少ないと認識している。遺跡などの文化財については、活用計画を立て、地元の方と一緒に魅力づくりをすることでシビックプライドの醸成にも繋がると考えている。</p>

<p>教育について、日本においては「恥ずかしくないような子供を作る」というのが基本的な考え方であるが、外国は「1人でも自立していけるような大人を目指す」という考え方が、教育についてはどうゆう考えがあるのか教えてほしい。</p>	<p>自ら考えて動いていけるように育ててほしい。これからの時代、暗記などはPCがやってくれる時代になってくる。自分で何ができるのかちゃんと考えられるような子供に育ててほしい。</p> <p>教育の一番の目的は自立した子供を育てること。社会で自立して生きていくことが最新の考え方。子供同士が意見を言い合う場がなく、親や先生たちで解決してしまうことが多い。これでは自立はできないと考える。</p>
<p>有害鳥獣対策の問題について、川手地域でシカの出没が多い。市の助成制度を充実してほしい。</p>	<p>庄原市全体で同じような問題が起こっている。庄原市全体の課題として考えないといけない。</p> <p>農業の被害額を考えても、助成をするというよりは森林の整備をするべきだと考えている。</p> <p>シカは南から来ている傾向がある。庄原市としては、シカを処理できる施設を新設した。食肉として流通できる仕組みを考えているところではある。ジビエ肉として都会への流通やスポーツ選手に対しての食として利活用できるように進めていきたい。</p> <p>フェンスを高くしないとそれを越えて田んぼや農地を荒らしている。助成金をもっと増やしていけるようにできないか考えているところである。</p>
<p>クジラ化石について、最近 11/8 に西城川で新たなクジラ化石を発掘した。今回はクラウドファンディングを活用し、発掘作業を行ったが、予算のない中で川の深い部分の発掘は作業が難しい。今回のクジラで 20 体目の発掘となったが、世界的に見ても有数な場所だと認識をしている。もっとアピールをして、比和自然科学博物館との連携をしたい。行政の関心が低い。地域の財産なので観光面でも活用できるのではないかと考えているがどうか。</p>	<p>比和自然科学博物館の中で、教材としてとても素晴らしいものだと認識している。市としての取組強化については、ご指摘の通りである。教育民生常任委員会での検討を要望する。</p> <p>地元の人が地域の財産を見るという機会が少なくなってきた。地域の方が地域の資源をもう一度再確認し、若い世代に伝えていくという取り組みこそが大事であるとする。行政として何ができるのか、振興区の皆さんと協議し、伝えていくことが大事である。</p> <p>文化財を含め、地域の宝となるものを発信し地元の産品としてやるのが大事である。市長や職員が共感してPRしてもらおうというやり方が一番良いと考える。一方で文化財の公開についてはちゃんとしてルールを設けてやっていくことが大事である。</p>
<p>広島県立大学との連携について、若い学生がたくさんいるので、もっと連携を強化すべきだと考えるがどうか</p>	<p>議会でも検討をしている。地域との関わりを持ってもらうための協議を進めている。</p> <p>庄原商工会議所内に産学官連携推進機構という組織が中心となって、連携を進めている。</p>

	<p>庄原のお祭りにも学生がスタッフとして参加してくれている実情もあるが、もっと連携を深めていけるような仕組みも必要である。</p>
<p>大学生と子供たちの連携について、5年前から2年生と事業の一環で地域にでて、花のまち応援隊に2名ずつ関わってもらっている。お手伝いという感覚で地域の進化にはつながっていない。また大学生が行くような飲食店も少なく、庄原市民会館の1室を貸して飲食をしているという事例もあるがどう考えているのか。</p>	<p>大学生にとって、自治振興区の一室を貸し出しているという取り組みは素晴らしいと考える。もっと憩いの場を整備したいという想いを持っているが、現実厳しい部分も多々ある。</p>
<p>庄原市は星空保護区という場所があるのか。</p>	<p>庄原市は星空保護区ではない。星空保護区については、研究を進めてみたい。</p>
<p>消防団員の負担軽減とモチベーション維持について、2年に1度、全国消防大会に向けてかなりハードなトレーニングを続けている。処遇等を検討する検討会では、全国大会が大きな負担となっていることが報告されている。また、出初式について、寒期中、長時間の拘束があり、毎年度調不良者が出ている。屋外ではなく、屋内への変更ができないものか。</p>	<p>消防団の処遇改善については、全国的に進んでいる。庄原市についても同様である。全国大会については、負担になっているという意見を良く聞く。出初式については、昨年から体育館で実施しているところもあり、拘束時間が長いことは今後検討すべき問題である。</p>
	<p>消防団について、若手不足で担い手がいらない。消防団には市民の生命と安全を見守るという目的もあり、消防団に入ってもらえるような仕組みを行政も考えるべきである。</p>
<p>スポーツで地域を活性化できないかと考えている。上野総合運動公園の周辺を整備していくという話を伺ったが、もう1面コートの新設するといった話は出てないのか。</p>	<p>もう1面コートが新設されるという話は出ていない。他議員が一般質問で人工芝のコートを作る計画はないのかと質問をしたが、予定がないとの答弁があった。その他、周辺を多世代が集える場所として整備を計画している段階である。</p>
<p>文化財の利活用については、現状を要望しても進まない。儲ける地域づくりは1歩前に進んでほしいという想いで提案をしている。振興区としてどのような取り組みをすれば前向きに検討してくれるのだろうか。</p>	<p>基本的には、事業計画や予算案を提出することである。どのような計画で誰がやるのかという部分まで落とし込んであると良いと感じる。議員の仕事として執行者側に地域の想いを伝えることが重要だと考えているので、今後も意見交換や情報共有を行っていきたい。</p>
	<p>地域の資源がたくさんあり、豊かな地域だと感じた。儲ける地域づくりという部分では、ふるさと納税などにも力を入れていくべきだと考えている。</p>
<p>市民の方はそれぞれ想いがあるやっっていることもたくさんある。議員や職員が寄り添って活動してほしいと感じる。</p>	<p>議員も様々な活動をしている中で、情報を網羅することが難しい。そのような声が一番大切であると考えているので、市民の方と一緒にやっていきたい。</p>

NO. 2 庄原地域峰田地区

テーマ：安全な地域づくり、市民生活の安全確保

参加者意見	議員意見
<p>安全な地域づくりについて、発災前と発災後について取り組みをしている。地域の絆やコミュニケーションが大事な観点だと感じている。最大の課題は避難場所である峰田自治振興区が土砂崩れの危険地域にも入っている。峰田小学校が統廃合となり、避難場所としての建築基準法で地震等の対応も可能。避難場所としての学校がどうあるべきか。地域で1つ拠点を設けていきたい。</p>	<p>小学校跡地を防災の拠点として活用したいということであるが、施設整備や備品の必要があると感じる。</p> <p>総務常任委員会で防災についての取組をテーマにしていきたい。</p> <p>自主防災会は設置している状況なのか。</p>
<p>自主防災会は設置しており、現状、峰田自治振興区と峰田小学校の2か所である。</p>	<p>小奴可自治会は、自主防災会を市内で早めに整備した。自主防災会の補助金を活用して、発電機を準備したり、共同炊飯ができるような炊事用具、体育館で寝れるような寝具、女性の着替えができるようなテント、蓄電池など15年ぐらいをかけて整備してきている。</p> <p>段ボールベットや簡易ベッドなどの設置事例もある</p> <p>自主防災会はいろんな箇所で行っている。最近では、局地的な雨が多い。自治振興区として、横と横のつながりを意識し、貸し出しができるような協力体制の仕組みを構築できないかと担当課と話をしている。1か所で整備するより数か所で整備するほうが効率的だと考えている。</p>
<p>備品の整備も良いが、避難指示も2回あった。局地的なゲリラ、地震も安全だと言えない。昼間の場合は行動しやすいが、問題は夜間である。高齢化や一人暮らしの家庭が増えてきた中で、実働できる人が少ない。避難経路のこともある。防災の計画の中にマニュアルなどはあるのか。</p>	<p>市民の方にはレベル4にならないうちに避難していただきたいという思いはある。夜間の大雨については、無理な移動よりは、2階の安全な部屋に避難するというのが現状の最善策である。</p> <p>平成30年豪雨の時、小奴可自主防災会は小奴可小学校の体育館へ自主避難所を開設した。そのほか、土砂崩れの可能性がある80人以上の住民を消防団で避難誘導した例もある。避難時の動機は、知り合いが避難所に行った、消防団の声掛けなどが理由として多く、普段からの意識づけが重要であると考えている。</p> <p>他地域では、防災部という位置づけにしているところもあり、自治会の組織の中に防災部として示している。課題として、勤務など関係で昼間に消防団員が地域に常駐していない。今後の消防団の在り方を考えていく必要がある。</p>

<p>いざ避難をするとなったとき、道の整備はどのようにしたらいいのか。崖崩れや溝が埋まっているという不具合もある。避難経路の確保について伺いたい。</p>	<p>避難経路の確保が一番の課題であると感じている。特に局地的な大雨などで橋や川を渡れないこともある。災害が起きたときの避難経路は普段からの自主防災会での意識づけがとても重要であるし、親戚や近所などのネットワークを共有しておくことが大事である。自主防災会での活動は自分の責任の範囲の中で行動し、自分の命を守ることも大事である。消防や警察などとの役割を明確にしておくこと。危険個所については市へ要望しておくことが大事である。</p>
<p>補助金での研修会を開くのに、何人ぐらい必要なか。地域の中では小さい地域もあり、もっと小さい単位で整備をしたい。</p>	<p>自主防災会への補助金は、研修会への開催や防災マップ、避難マニュアルへも活用できる。</p> <p>行事の中で避難経路の話や市の出前トークを活用することもできるので、検討してほしい。</p>
<p>市として避難場所など、どのように予算建てをしているのか聞かせてほしい。現状では避難する人がいない。</p>	<p>避難所に一律に、防災用品を備えているのか分からない状況であるが、市の職員が発電機や非常食、食事の提供、段ボールベットなどを提供している。</p>
<p>毛布や発電機、食料についても提供をうけているが、置く場所にも困っている。また、要支援するリストについて、民生委員はリストを持っているのか。自治振興区にも共有してもらう必要があると感じる。</p>	<p>以前、要支援者リストを自治会と共有できないかという一般質問をした。自主防災会の役員なら会議の場をもって共有できるという確認はとれている。社会福祉課と確認をとってほしい。</p>
<p>市には福祉の建付けがあると思うが、どのような形につながって、どこに予算がかかって、どのようになっていくというのが分からない。また、以前の市長懇談会では、市と自治会の役割の分断や住民自治、団体自治の話があったが、どのようなことなのか教えてほしい。</p>	<p>建付けについて、住民の財産と生命を守るという部分が大前提であり、国の自治法として1丁目1番地でおこなっている。その部分を住民に任せるとい部分は間違いだと感じる。住民自治のできる場所は、発災前と発災後の部分だけであり、普段からのコミュニケーションが大事である。</p>
<p>第2期長期総合計画が令和7年度で終了する。目標指数では集落数24組織。専門家を県がサポートしていくという建付けになっているが、認識では、庄原市の防災計画が元となって、各自治振興区へ任せているという認識であるが、どうか。</p>	<p>広島県中山間地域のとりまとめ中で、広島県が問題意識をもって、文化的な部分、歴史的な部分、祭なども含めて、どうするのかといった計画であるが、本市では自治定住課が担当部署である。広島県が中山間地域のことを本気で考えてやるべきだとおもうが、はっきりとした情報はない。</p>
<p>財政調整基金について、令和6年にかなりと額が減っていたと認識しているが、市の財政は大丈夫なのか。</p>	<p>現在、財政調整基金は48億の残高である。議会として注目したいところは不要額がでているということは、最初の計画、積算根拠が甘いと感じる部分がある。令和6年度の決算審査では、国費や有利な財源を確保している状況。</p> <p>2年連続赤字がでており、赤字がでないような運営をしないとイケない。今後の財政を考えるとしっかり自主財源を確保するような仕組みを構築したい。</p>

	庄原市においても財政は豊かではない。当初予算と決算に違いが生じるには、予算時に国からどのぐらい入ってくるのかわからない状況もある。選択と集中の中でチェックしていくことが議会の重要な仕事である。
住民自治と団体自治は共同して動いていくという大前提がある。情報共有を徹底することが大事で共有できないとまとまらない。庄原市は早くから自治振興区制度を導入したが、住民自治と団体自治が連携できる組織もあるが、議事録や資料が公開されていない。そのような観点での情報公開はもっとやる必要がある。特に若い方を中心に現役世代で引っ張ってほしい。第3期長期総合計画の中に若い人の意見をもって取り入れてほしい。	若い人向けのワークショップを3回実施している。議事録については、一定の引継ぎの中で残しているが、公開できるように委員名で提言していく。
議員の活動について、選挙の時だけでなく、住民の声を聞くように地域を回ってほしい。足げなく通ってほしいと思う。	井戸端スタイルという形の語る会もあるし、声をかけてもらえればいつでも出向く。
4月から市議会も体制が変わり、若い世代が多く期待をしている。従来の形ではなく庄原市のためにいろんな意見交換をしてほしい。	いろんな意見をフィルターにかけて精査していきたい。
東城粟田地域の件は、どうなっているのか。防犯カメラについて、峰田地域も必要だと感じるが自治振興区から申請ができるのか。	順番に計画的に防犯カメラの設置をしていた段階で今回の事件が発生した。防犯カメラの設置については、設置費用、ランニングコストもかかる。設置については防犯協会に一任している。自治振興区としての設置という部分では、県のガイドラインが厳しく、プライバシーにもかかることなので、自治振興区での設置は難しいと判断している。個人での設置は可能である。

NO. 3 庄原地域敷信地区

テーマ：共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」

参加者意見	議員意見
庄原市中心部は、新庄板橋エリアと駅前エリアで明暗が分かれていると感じる。駅前を開発、整備するよりも、にぎやかな新庄板橋エリアを更に賑やかにしていった方が良いのではないかと感じる。	まちづくりの観点からそのような考え方も必要と感じる。しかし庄原駅は庄原市の玄関口の意味合いも持つ場所である。現在庄原市では芸備線存続のために動いており、芸備線の利用者の利便性や、今後はインバウンド需要で JR 芸備線で外国人の訪問客が増える可能性もあることから、庄原駅周辺も整えておかなければならないと感じる。
農業が発展すれば庄原市も良くなっていくと思う。法人化を進める方向性で動いていかなければならないのではないかと感じる。	今の庄原市は担い手が不足し、今後は農業が続けられなくなる地域も出てくる。法人化できるところは良いが、できないところもある。今後の課題だ。

<p>若い人を増やすために、結婚する人を増やさなければならない。昔は仲人がいたがそのような役割を持った人が必要ではないか。</p>	<p>庄原市も縁結び事業はやっている。その中で何組かの実績は出ている。課題としては女性の参加が少ない事が挙げられる。</p>
<p>今の庄原市は、職がない、税金が高いなど、多くの問題がある。庄原市として人口を増やすための手段を知りたい</p>	<p>現在長期総合計画を策定しており、具体的な施策は長期総合計画で示される。市民の意見を長期総合計画策定に取り入れるための審議会やワークショップも開かれている。</p>
<p>長期総合計画をつくる前に、10年先に庄原市が維持できるのか今後の財政などについて議会として議論されているのか。</p>	<p>10年先を見据えて議論している。10年後に財政破綻することはないが、今の段階で思い切った投資をすることはできないと感じている。</p>
<p>敷信は人口が増えていると言われるが、増えているのは板橋だけで他の地域は減っている。人口減少対策など、市長や議員がどのように動いているのかアクションが見えるようにしてほしい。</p>	<p>確かに市民にアクションが見えないことはあると思う。課題と感じている。</p>
<p>合併して20年経つが、議会として総評はしたのか。</p>	<p>議会としてはやっていない。やらなければいけないことだと感じている。</p>
<p>人口が減っても元気な庄原市にしてほしい。そのために党派を超えて議論してほしい。</p>	<p>農業が活性化されれば庄原は変わってくると思う。議会として議員それぞれが同じ方向で取り組んでいきたい。</p>
<p>ドローンを活用した新しい取り組みがあると聞いたがどのような状況なのか。</p>	<p>確かにそのような動きはある。ドローンを使って物流拠点にという話も聞いている。現在は民間主体で動いており、市が積極的に絡んでいるという話は聞いていない。このような取り組みの他にも全国に先駆けて新しいことにチャレンジしていくことはこれからの庄原市には必要な事だと感じる。</p>
<p>長期総合計画を立てるときに、議会として積極的に関わってほしい。</p>	<p>議会としてかかわる仕組みはできていない。市から出てきたものをチェックするようになるが、その辺りも課題と感じている。</p>
<p>民生委員と一人暮らし巡回相談員は負担が大きい。また、人口が多い地区では少ない地区よりも負担が大きい。民生委員を決めるのも振興区に大きな負担がかかる。民生委員については市が関わって、ある程度依頼する人を選考してもらえれば良いと思う。</p>	<p>民生委員と一人暮らし巡回相談員の件は自治振興区に負担がかかると思う。市に伝える。</p>
<p>獣害対策については、防衛には限界がきている。やはり数を減らしていくしかないと思う。捕った猪を買い取ってくれるのはありがたいが、罠を設置したりする手間や労力もかかる。捕るまで過程で補助を拡充してもらえれば考える。</p>	<p>獣害対策に関しては、県から派遣された「テゴス」のメンバーが指導を行っている。捕獲に至るまでの過程での補助の拡充の件は市に届ける。現在ドローンを使って、地域全体の猪鹿の数を把握し効率的な捕獲を目指す実証実験に取り組む地域もあるので、その動向次第では何か変わるかもしれない。</p>
<p>自治振興区の統合の話も聞こえてきている。自治定住課にリーディングをとってもらいたい。また、自治振興区の規模の違いがあっても賃金は同じで事務局長や事務員のなり手不足が深刻だ。</p>	<p>自治振興区については様々な課題を抱えている。課題意識も強く持っているので市に届けていく。</p>

NO. 4 庄原地域東地区

テーマ：地域づくりと自治振興区のあり方

参加者意見	議員意見
<p>地域づくりと自治振興区のあり方は、ハード面とソフト面について考えないといけない。ハード面は自治振興センターがユニバーサルデザインになっていない。パネルの展示なども高齢者には負担が多い。この先廃校等を活用するには、設備の整理が必要である。ソフト面では職員の待遇や、自治振興区の役員の人材育成が重要である。今の状態は地域貢献でやっている状態のため、役員選考は東だけでなく庄原市全体の問題と思っている。</p>	<p>議会としてもハード面とソフト面で考えないといけない共通認識がある。トイレを改修するなどハードの改修は早期解決が可能であるが、ソフト面で言えば誰もが立候補して自治会長になりたいと思うような、地域での盛り上がりや活性化が必要と思っている。</p>
<p>昔は自治会長を長い年数をやられていたが、現在は各班で2年毎となっている場所もある。若い人間が少なく、勤めをしながら自治会長はしんどい。現在の自治振興区は市役所の下請けのような状態であるため、個人的には自治振興区制度より公民館制度が良かった。自治振興センターへ行けば、市役所での勤務経験者などがいて相談できるのが理想だと思う。</p>	
<p>自治会長を務めていると地域に頼られる存在になってくる。消火栓や防火水槽の標識が錆びていたが、それを改善した時にやりがいを感じる事はある。</p>	
<p>30代から50代で自治会を抜けるような話が出てきている一方で、若い人材が祭りを手伝ってくれたりする。この問題は20年スパンでなく10年スパン位で考えないといけないと思う。民生委員も改選で人材不足である。</p>	
<p>現在は自治振興区を指定管理に移行したが、これは行政区で足りないところを指定管理にして人件費を安くして済ませている。自治振興区だけ指定管理の中で特別な対応が出来るのかどうかを問いたい。自治振興区は自分たちの事は自分たちで解決する、振興とは地域の振興を図り、住民の福祉の向上、安心安全な町を作りなさいと投げられている。</p>	<p>地域の事は地域で解決する、という事についてどういった捉え方をするか。自治振興区は地域の英知を集結してくれという流れがある。今は隣近所での助け合いや、仲間意識が薄れているため、地域ごとの活性化が必要である。そうでなければ地域の自治が壊れてしまう事を危惧している。地域の事は地域で考えなければいけない。地域でまとまって方向性と意見を出してもらえば行政は動ける。</p>
<p>市としては地域の事は自治会で守れというスタンスであるが、若い家庭は自治会に入りたがらない現状がある。地域自治としてのあり方が問われている。二世帯住宅もあるが、世帯数と自治会の入会と乖離が大きくあるのが現状である。</p>	
<p>若い世代は自治会が何をしているか実態がわからない。自治会を受けるメリットや、無くなったときの危機感などが今の若い世代は感じていない。</p>	<p>振興区と自治会、住民との距離がある。自治会長や区長との距離感をどのようにしていけばいいのかなと思う。自治振興区制度となり20年経った今は過渡期であると思う。地域性があるため正解は難しいが青年部からの移行など様々な形があると思う。</p>

<p>市民住宅では入れ替わりが激しく、自治会長を決めるのに苦労する。また、仕事をしながら日中に振興区へ行くのも負担になっている。</p>	
<p>長く役を受けていると悪い事だけでなく良い事もある。地域で顔見知りとなれば信頼感も得られ、情報を提供して助け合える面もある。緊急時の連絡体制や、各家庭の家族構成の情報を提供してもらっている。</p>	<p>東自治振興区は、盆踊りや祭りなどで幅広い世代の繋がりががあると思う。同世代からも地域への感謝や愛着の言葉をよく聞くので、悲観するような状態ではないと思う。</p> <p>若者と女性が住みたい地域づくりが必要だと思う。動ける人間がいれば引っ張っていく。また、楽しそうに自分自身がやっていく活動にしていけないと遠のいていく。</p>
<p>ふれあい祭りや盆踊りなど、多くの行事をやっているが、女性部や青年部と連携をとってやっている。連携し合っていないと行事ができない程に女性部と青年部のウェイトが大きい。</p>	
<p>自分は今まで自治振興区が何をしているか知らなかった。偶然盆踊りに運営側として参加するよう声をかけていただき参加した。若い世代は私のように知らないだけではないか。声をかけて貰いたい人間が多くいると思う。また、よいとこ祭のパレードや盆踊り等を見た他の自治振興区の同世代からは、東自治振興区の勢いは凄いとされる。自分の自治振興区への評価は難しいが、周りの同世代から評価の高い自治振興区だと思う。(30代男性)</p>	
<p>振興区のあり方は、生涯学習の委託事業を触れ合い祭りで発表するという流れでやっている。若い人や女性といかに連携をとっていくか。行事の多さなども時代に合ったものでやっていかなければいけない。漢字検定の会場として自治振興センターを使用したりしているが、反面それが負担にも感じる。</p>	

NO. 5 庄原地域北地区

テーマ：10年先の庄原市を見据えて

参加者意見	議員意見
<p>昨年は庄原市全体で100人しか子供が生まれていない。このままでは10年後小学校の数は激減する。広報で市民一人当たりの借金が130万円と載っていた。このような状態で子どもを増やす事はできるのか。10年後の未来を見据えて川北では教育移住を進めたい。</p>	<p>市の借金は計画的に減らしてきている。これから大きな事業が無い限り、借金は増えないと感じている。子どもを増やすためには働く場所も必要だ。現在工業団地も全て埋まっている状態なので、企業誘致も難しい部分がある。市内企業は人材不足で募集しても応募が無い企業も多い。求人者と求職者が上手くマッチングできていない場合もあるので、マッチングに力を入れていかなければならないと感じる。川北の私立学校の教育方針は、これからの日本に求められる「主体性」と「当事者性」を養う事ができると感じている。この学校は移住対策の起爆剤になると感じる。</p>

<p>ソーラー発電を作ったのは良いが、その後管理されていない場所が多い。ソーラー以外の土地の管理を考えなければならない。米を作るにも、池や水路の管理は高齢者には負担が大きく、今後続けられなくなれば、更に管理されない土地が増えてくる。</p>	<p>水路は老朽化し、高齢化などで水の管理は大きな負担になる、圃場を再整備するのもハードルが高い。そんな中、山内では国の補助事業を活用して、10年後の地域をどのように維持していくか議論されている。圃場整備を行いスマート農業を導入して、地域を維持していけるような計画で取り組みを行っている。現在実証実験等を行っており、今後の進展を注視している。ただ、圃場整備ができない山沿いの圃場をどうしていくのかという課題もある。</p>
<p>移住者を受け入れるときにはいい事ばかりをいうのではなく、実際の地域の実情を伝えておく必要があると感じる。除雪が来ない、草刈りをやってくれないなどの苦情につながらないように、あらかじめ伝えておくことが重要だと感じる。</p>	<p>雪が降る、草が伸びるなどの環境整備をするのは土建業者である。庄原の土建業者が少なくなればそれらをやってくれる人が少なくなり、更に作業に時間がかかったりできなくなったりする。土建業者が事業を続けていけるように支援していかなければならないと感じる。</p>
<p>高齢になり運転免許証を返納したら移動できなくなる。シニアカーを利用しやすくするように、購入補助金や道路の整備などが必要ではないか。また、今後の地域交通について本気で考えていく必要があると思う。</p>	<p>高齢者の移動手段として、シニアカーは有効だと認識している。購入する場合は高額になるので、購入をためられる方も多いと推測できる。個人的にも相談を受けているので市に伝えていく。また地域公共交通については、現在、次期地域公共交通計画を策定中である。車を運転できない方の移動は、拠点と拠点は路線バスやJRで移動し、その先の二次交通をどれだけ充実できるかが課題と考える。現在有償ライドシェアの実証実験が行われており地域交通の可能性を広げる取り組みだと感じている。</p>
<p>市民一人当たりの借金が130万円というが、必要なところにはお金をかけるべきだと思う。教育移住される方のサポートや受け入れを検討しているが、私立小学校だから支援が何もないという事では受け入れを躊躇してしまう。</p>	<p>教育移住については来年度の予算編成に対する要望は会派で行っている。教育移住は移住対策として重要と考えているので、何らかの動きができるように働きかけていく。</p>
<p>最重要課題の人口減少問題をどのように解決していくのか見えてこない。もう少し市が儲けていく視点を持つことが重要ではないか。農業政策、ふるさと納税、林業政策など何を主軸に置いてやっていくのか、議会と行政が一つになってやってもらいたい。</p>	<p>議員が計画策定に入れていないところは課題として感じている。議会としては会派ごとに、予算、市政運営、施策などの要望を会派要望として市長に要望している。その中で計画に反映できるものは反映される。その他でも議員と行政が一体となって取り組んでいかなければならないと感じている。</p>
<p>議員一人ひとりが10年後の庄原市をどうしたいかという、しっかりとビジョンを持っていないところが問題だと思う。市の施策の中で失敗したことも成功したことも、しっかりと結果を分析して課題解決につなげてほしい。</p>	<p>議員一人ひとりがそれぞれ強い思いを持って議員になっている。その思いや将来のビジョンに向かってブレないように活動していく。議員一人の個人では市は動かせないと思うので、過去のデータや実績をしっかりと分析して議会が一つになって動いていくことが必要だと感じる。</p>

NO. 6 庄原地域山内地区

テーマ：有害鳥獣対策等

参加者意見	議員意見
<p>イノシシの被害について相談場所がわからない。そのため対応が後手に回っているのではないかと。被害が起きてからでは遅いので相談から対応までを早急に、見える形で対応して欲しい。行政や、「tegos」（一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構）が連携している共同体があってもいいのではないかと。庄原市として有害鳥獣対策の窓口がないと厳しいと思う。</p>	<p>庄原市の問題として有害鳥獣は大きな問題と捉えている。庄原市に担当課がない状態では対応が難しい。担当課がない現状では職員一人一人に大きく負担がかかっているため、担当課の設立などの対応が必要だと認識している。</p>
<p>人間の生活環境と鳥獣とのバランスが崩れてしまっている。有害鳥獣に対する防御でなく、有害鳥獣を捕獲し、日本の農家は庄原が助ける位の気概でいて欲しい。熊や鹿の被害も多くあるため庄原市は有害鳥獣対策に力を入れて欲しい。</p>	
<p>市民から見ても、有害鳥獣問題に対応する市の職員が不足している。対応する部署や人員が必要ではないかと。</p>	<p>市の組織としても早急に対応できる状態にするため、担当課の設立を会派要望に入れたい。対策について前進させたい。</p>
<p>緊急銃猟制度が9月から施行された。庄原市だけでなく日本国内で有害鳥獣問題について対応が追い付いていない。今の庄原市で有害鳥獣問題について議員としての考えを伺う。</p>	
<p>銃の所持や保管など多くの費用がかかる。昔であれば趣味で銃を所持していたのが、今は時代と共に駆除の依頼を受ける形となってきた。そういった負担をしている狩猟者に対して敬意を私は持っている。</p>	

NO. 7 庄原地域本村地区

テーマ：地域のこれからを語ろう（1）日本ピラミッドについて

参加者意見	議員意見
<p>広島県主導で葦嶽山を中心とした森林公園構想により整備されてから30年以上経過する。</p> <p>市の観光資源として活用を進める必要があると考えるが、現在、案内板・トイレ・遊歩道などが経年劣化による老朽化が激しく、その役割を果たしていない状況である。観光力を高める必要があると考えるが、議員としてどう考えるか。</p>	<p>施設が老朽化している現状は認識している。観光客も来訪しており施設の修繕を早急に進める必要があると認識している。周辺の観光地と一体的なPRに向け、関係施設の整備は必要。メディアで取り上げられたことをチャンスととらえ、さらなる観光客の集客が必要。</p>
<p>課題認識だけでは解決にはつながらない。予算をどう措置するか等踏み込んだ議論が必要。誰がリードするのか等議員の中で議論が必要。</p>	<p>執行部も課題認識している。企画建設委員会として検討を進める。</p>
<p>地元としても、地域の意見をとりまとめ、自治振興区から要望を出す必要がある。</p>	

テーマ：地域のこれからを語ろう（２） 獣害対策（イノシシ、シカ、アライグマ、ツキノワグマ）について

参加者意見	議員意見
<p>イノシシやシカの個体数の増加により農作物の被害も年々増加し、その対策に追われるようになり、高齢化、人手不足で思うような対策が困難になっている。</p> <p>加えて、ツキノワグマの出没が何度も確認されるようになり、その対策に地域は苦慮している。議員としてどのように考えるか。鳥獣対策について外部委託してはどうか？</p>	<p>鳥獣被害は、本市において重要な問題と認識。こうしたなか、企画建設委員会の調査項目として、調査を実施している。他県の優良事例等を参考に、有効な方策を協議しているところ。</p> <p>国において、緊急銃猟の仕組みができた。本市の取り組みはまでこれからと聞いている。全国でクマの被害が報道されるなか、対策の構築が必要であると認識している。</p>
<p>クマとの共存はできない。駆除の強化に舵を切してほしい。</p>	
<p>地域が高齢化しており、対策が十分できない。優良事例の共有化が必要であり、行政がしっかり共有の仕組みを作ってほしい。</p>	

テーマ：地域のこれからを語ろう（３） 高齢化による耕作放棄地の拡大について

参加者意見	議員意見
<p>耕作放棄が拡大している。対策についてどう考えるか？</p>	
<p>市として若い人を呼び込むためのビジョンを示すことが必要。</p>	
<p>オペレーターが高齢化している。大型農家も受託してくれない。10年後は見えない状況。</p>	
<p>担い手として外国人労働者を積極的に活用が必要。農業に限らずあらゆる分野で外国人労働者の活用が必要。</p>	
<p>J A等関係機関との連携はどう考えるか？</p>	<p>農業については担い手不足が一番の課題と認識。農作業受託事業者もこれ以上の受託は限界にきていると認識。県内のJ Aでは、農作業を受託しているJ Aもある。農作業受託等について農業関係機関とも連携して対策を構築していく必要がある。</p>
	<p>農作業受託している事業者に対する支援が必要。</p>

NO. 8 庄原地域高地区

テーマ：地域のこれからを語ろう（１） 鳥獣害対策について

参加者意見	議員意見
<p>鳥獣害被害が深刻な状況である。市は、防除柵や捕獲柵設置の費用の補助等、有害鳥獣防除事業を実施しているが、対策が不十分であると考える。今後の取り組みについて教えてほしい。</p>	<p>鳥獣被害対策については、企画建設委員会の所管事務調査とし、効果的な取り組みについて調査しているところ。他県市町村の優良事例を研究し、本市の実態に適合する対策を検討中。スピード感を持って取り組みを進める。</p>
<p>全国的にクマの被害が多発している。クマについては、捕殺するほか対策はないのではないかと考える。学校や各家庭にクマ撃退スプレーを備え置くとともに、撃退方法等の訓練が必要ではないか。</p>	

これまで様々な対策をしてきたが、一時的な効果はあるが、鳥獣もしだいに学習し効果が薄くなる。	
捕獲員を増やすことが必要。罠にかかった鳥獣を止めさしできないケースも多い。	
イノシシは柵で防ぐことができるが、シカは防ぐことができない。市の対策が必要。	情報収集を速やかに行い、効果的な対策を検討する。

テーマ：地域のこれからを語ろう（２）老人ホーム・介護施設への入所について

参加者意見	議員意見
老人ホームや介護施設へ入所できずに待機している高齢者がいる。議員としてどう受け止めているか。	市としては、待機している高齢者はいないという認識。また、市長は新たな施設は建てる予定はないとの考えであり、人口減少が進行し、既存施設で十分機能発揮できるという考え。いずれにしても、市内どこに住んでいても、同じようにサービスを享受できる体制が必要。 住み慣れた場所で暮らしたいという願望がある。ショートステイとデイサービスの仕組みの確立が必要。しかしながら、介護ヘルパーの高齢化により体制が構築できない実態がある。人材の確保が必要。
老人ホームへの入所を希望する人はどういう人が多いか？	要介護2が一つのラインであると認識している。要介護2になったところで、家族や施設関係者と将来の方向性について相談が必要。本人や家族等の実態を踏まえての相談が必要。 本人がどういう生活を希望するのかを考えることが必要。

テーマ：地域のこれからを語ろう（３）小学校の統廃合について

参加者意見	議員意見
市内小学校の統廃合について、今後の方向性について聞きたい。	中学校の統廃合については凍結。小学校については地域・保護者等の意見を尊重するという方向。
少子化が進展する中、課題を先送りしているだけではないか。	小学校の統廃合について賛否両論がある。地域でしっかり意見を構築する必要がある。
高小学校の全校生徒は46人。きめ細やかな教育ができていると認識。生徒数のみで判断するのは疑問がある。	
	峰田小学校が休校となり、跡地を有効活用している。

テーマ：地域のこれからを語ろう（４）夜間の通院について

参加者意見	議員意見
夜間、庄原日赤病院に通院した高齢者が、診察後に病状が安定したことから、帰宅するように言われたとのこと。帰る方法がなく苦労した経験を聞いた。	西城病院では、ボランティアで送り迎えがあると聞く。庄原日赤と話をしたところ、西城病院のようなボランティアの送迎の仕組みを作りたいとの意向があった。 ショートステイの仕組みが必要。医療体制について地域によって違いがあってはならない。議会の中で話をする。

日赤に対し、一泊させてくれるように働きかけをしてほしい。何故宿泊できないかを明らかにする必要がある。	日赤としっかり話をしていく。
--	----------------

テーマ：地域のこれからを語ろう（５）75歳以上の人間ドックについて

参加者意見	議員意見
市の75歳以上の人間ドックは何故廃止となったのか？受診費用が非常に高額である。	75歳以上継続するべきと執行部と議論している。調査のうえ、別途情報提供する。

テーマ：地域のこれからを語ろう（６）芸備線存続に関する取り組みについて

参加者意見	議員意見
芸備線存続についてどう考えるか、議員の意見を確認したい。施設も老朽化しており、存続は現実的ではないと考える。	芸備線は存続させる方向で協議を進めている。最も乗車しているのが高校生の通学である。通学の確保ためには存続すべきと考えている。なお、施設の改修は市ではできない。地域交通確保の観点から存続させる必要と認識している。
高駅にトイレがない。観光客等、人を呼び込みにはトイレの整備は必要。	

テーマ：地域のこれからを語ろう（７）比婆山御陵について

参加者意見	議員意見
比婆山御陵について、市が力をいれているように見えない。PRが必要。庄原市の魅力として小学生等に学ばせることで、地元の誇りになる。	魅力を掘り起こし、資材等を作成しPR強化が必要であると認識している。

テーマ：地域のこれからを語ろう（８）移動スーパーについて

参加者意見	議員意見
とくしまの運行状況について聞きたい。	①本村・赤川・総領、②本村を除く地域の2コースである。施設整備（車両）にあたり、市の補助を受けている。見守り機能を有しているが、手順が不明瞭という課題がある。

NO. 9 西城地域西城地区

テーマ：共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」

参加者意見	議員意見
若い新人議員が増えた。やる気を出して立候補したと思う。それぞれの思いを聞きたい。	二期目に入り、思いをもって議員になっても思いを実現することは難しいと感じている。自分の実現したいことを市民の方々や執行者担当職員としっかりと話をすることによって思いの実現につながっていくと感じている。
	自分が立候補した理由は身近な問題を解決するために立候補した。日々勉強しながらやっていきたい
	地域に議員がいなかったという事はもちろん立候補するきっかけにはなったがおもしろい庄原に変えていくために立候補した。少しずつ変えていきたい。

<p>庄原市は350億円の借金がある。この借金は将来的に減っていくのか、増えていくのか、そのままなのか、将来の若者に残すのか。不要な資産は減らしていくことを考えていくべきではないか。</p>	<p>計画的な起債で事業を行い、借金も年々減らしてきている。不要な資産は公共施設管理計画を立てて取り壊しを進めている。地元で使えるものは使い、売れるものは売れる様に動いている。</p>
<p>要望するだけでなく、実現性の高い事業は確実にやってほしい。必要なものと必要でないものをはっきりさせるべきではないか。</p>	<p>会派要望にも内容を踏まえていきたい。</p>
<p>クリーンな町にしていきたい。道路に草や木が繁茂している。</p>	<p>森林環境譲与税が使える場合は使って整備するように働きかけていく。</p>
<p>前市長は西城病院を建て替えると言っていたが、その後の整備についての現状はどうか。</p>	<p>教育民生分科会では、西城病院として建て替えの希望はあるが、西城病院だけではどうすることもできない。今後は担当課としっかりと話をしながら協議していきたいとの答弁があったと記憶している。</p>
<p>西城紫水高校をどうしていくのか、またもっと全体的な庄原の県立高校をどうするのかという議論が必要ではないか。</p>	<p>今は細かい支援を要求しているが、今後は全体としての議論をしていかなければならないと感じている。</p>
<p>西城の子育て支援センターについて、利用者が増えれば施設営業日を増やすという事だが、少なくとも必要としている人がいる。お金や利用者だけで判断してほしくない。何を大切にするのか議論するのが議会ではないか。</p>	<p>国県市へ要望しなければならぬと思う。議会からもしっかり伝えていきたい。</p>
<p>都会に比べて西城は子育てしやすい場所だという事をPRしてほしい。都会に集まる税金を田舎に回すことができないのか。議員として何か立法する動きをしてほしい。</p>	<p>市議会議員として田舎だから子育てしやすいという町に変えていきたい。国や県の制度を変えるのはハードルが高いが、市を変えていけるようにしていきたい。</p>
<p>学校の統廃合について統合後の状況を議員で分析しているか。</p>	<p>統廃合後の分析は、議員としては行っていない。教育委員会への聞き取りでは、子どもたちの意見は良い意見が多く聞かれているのが事実。地域住民からは地域が寂しくなったという意見があるのも事実である。考え方は人それぞれで、地域としては残したいと思っても、子供や親の気持ちはどうなのか考える必要があり、優先させる必要があるのではないか。</p>
<p>学校統廃合、複式学級などの市の方針が見えない。引き続き議論していくことが必要ではないか。</p>	<p>様々な意見があって当然である。これが正解という事は言えないと思うので引き続き議論を深く続けていく必要があると感じる。</p>

NO.10 東城地域小奴可地区

テーマ： 庄原市の未来を語ろう

参加者意見	議員意見
<p>庄原市の自治振興区の在り方について、自治振興区の職員の処遇改善や人材を確保していくためにはどのように考えているのか。</p>	<p>昨年度、所管事務調査で自治振興区の在り方について調査をし、3月に提言を行った。提言内容として、処遇は給料が低く、課題として、人材不足は自治振興区の規模の差が大きいなど、基本的な処遇を改善するために、取り組んだ事業に対し人件費を上乗せするなどの方式で地域課題に取り組んでいただくことを誘導する施策展開をしてほしいという提言を行った。</p> <p>議員の総意として、処遇改善が必要だと感じる。3月の議会からまた要望を出していく方向で考えている。また、自治振興区での収益を事務局の人件費にあてるという方法もあるのではないかと考える。</p>
<p>有害鳥獣の防止施策、被害についての対応はあるが、被害にあった農地に対する補助政策についての考え方を教えてほしい。</p>	<p>1番の被害対策は、捕ることだと考えている。また、庄原市に新たに有害鳥獣処理施設が竣工されている。農地や農作物の被害については、補助制度を検討できないのか今後も提言していくつもりである。</p> <p>30～40年前に比べ、有害鳥獣の被害が増えている。現在は、狩猟を目的とした政策が多いが、有害鳥獣が住んでいる場所、隠れている場所を整備する必要があると考えている。</p> <p>有害鳥獣対策の特効薬はなく、電線とワイヤーメッシュが一番効果的であると言われているが、福井県での事例では、犬を放し飼いにすることで効果があるという提言もあるので、改めて専門家へ話を伺いたい。</p>
<p>芸備線について、実証実験により、いろんなイベント実施されているが、不法駐車があった。乗ろうと思っても帰れない便があった。また助成金について、グループでの助成金はあるが、1人1人が乗れるような助成金がなく、地元の人が乗っていただけるような仕組みはないのか。</p>	<p>先日備後落合駅でイベントがあり、多くのお客様で賑わったが、駐車場に止められない事例も多くあり、近隣の自治振興区の駐車場からバスでピストン輸送を行った。また、臨時便のダイヤについては、平常は増客している。地域のイベントについては、沿線の市民、自治振興区などは参加されるが、地域間の温度差があるので、庄原市として全体で盛り上げていく必要があると考える。</p> <p>今回の実証実験は観光に特化しているようにも感じる部分があり、生活交通の部分であったり、2次交通、通学、通勤で使えるダイヤをもっと増やしていくべきだと考える。</p> <p>駐車場については、駅前に駐車場がない駅が多く、自家用車が見える整備になっていないので、そのあたりの施策が必要であると考えている。</p>

<p>芸備線について、地元の方が乗ってもらえるようなダイヤにしてほしい。地域の高齢者は免許の返納やバスのダイヤが不便で、西城病院や日赤病院にも行けないが考えを教えてください。</p>	<p>小奴可地域の方から芸備線存続への声をあげてほしい。地域の方のために芸備線を存続させるという声が一番大事ではないか。</p>
	<p>市も民間事業者へ補助を出し、生活路線の確保に努めているが、西城駅～庄原駅間で乗客がいない場合も走っていることもある。JRやバス路線の形を見直す必要があると感じている。その他、運転手の確保や事業所の確保、いろんな課題が山積している。また芸備線再構築協議会は全国初であり、他自治体も注目している。</p>
<p>庄原市は市民税があまりにも高すぎると感じるがどうか。</p>	<p>市民税については、算定基準はどの市町村もほぼ横ばいであり、庄原市が特段高いというわけではない。</p>
<p>庄原市の人口減少について、地域の子供があまりにも少ない。子育てに対しての支援であったり、統廃合の問題についてどのような考えを持っているのか</p>	<p>子育て支援については、庄原市はすごく取り組んでいるし、良い政策もたくさんある。しかし市民の皆様には届いていない部分も多くあるので、PR方法を強化していく。</p>
	<p>庄原市は恵まれている地域であると認識している。しかし、移住定住については来たい人が住めるような体制が整っていないのが現状である。</p>
	<p>人口減少対策について、子供たちの進学のためには仕方ない部分もあるが、庄原市の取組で「庄原いきいき働く協議会」があり、市内の企業が集まり、市内高校生などに地元就職を促している。</p> <p>行政職員についても、本年度フレッシュアズ枠やIT枠など間口を広げて採用には強化を図っている。</p>
	<p>子育て支援制度については、県内トップレベルである。</p>

NO.11 東城地域八幡地区

テーマ：各議員のこれまでの一般質問を含めた取り組み内容についての質疑応答等

参加者意見	議員意見
<p>八幡では現在困っていることについて、住民アンケート調査を実施した。農地林地の維持管理、有害鳥獣被害、それと自身の家族の健康と介護問題、全てがこれといった対策が分からない。有害鳥獣が出現するのは仕方なく感じている。猟師も少なくなっている中で、箱罟の助成、猟師の育成について市としても動いていただいているが、取り組みの内容が見えない。</p>	<p>有害鳥獣は庄原市も課題として認識している。林業振興課の対応対応が間に合わない。現在は捕獲したシカ、イノシシを工業団地で食肉に加工して販売しているが対策はそのくらいしかない。</p> <p>有害鳥獣対策が一番の重要な課題なら、有害鳥獣対策課の設立が必要なのではないかと考えている。他市では専門的知識を付ける職員の育成事例もある。専門的知識の職員を配置するか、そういった課を作るか別組織を作るかになると思う。</p> <p>有害鳥獣に関しては防御策について補助金等の支援が必要だと感じる。以前から一般質問でも有害鳥獣について何人も質問が出た。今後はICT技術の導入なども重要であるため、会派としても予算要望をしている。</p>

<p>近所でも農の免許を取得している人がいる。設置場所の規制や、農設置の費用等やはり補助が必要になる。市職員にも狩猟の銃免許を持つ職員の育成を考えて欲しい。</p> <p>広島市での勉強会には若年層の方が多い。狩猟の銃免許は若い世代が多く興味を持っている。若い人材が庄原市は中々結びついていない。銃の維持費も高く有害鳥獣対策での狩猟は厳しくなっており、趣味でされる人でなければ銃免許を継続するのは難しいのではないか。自衛駆除の範囲がネックになっている。</p>	<p>やはり庄原市で専属の課が必要だと思う。その中で猟友会と連携し、いい形を模索する必要があるのではないかなと思う。</p>
<p>地域交通については、まず自分が運転し、難しくなれば家族、最後の方に福祉交通のお世話になっている。今後免許返納した時にはまず家族に頼りたい。それでも駄目なら福祉に頼りたいというのが地域の声で出ている。</p> <p>地域交通の目的として買い物、通院、通学が多い。不便であるが急に全てが改善されるのは難しいとわかっている。だから部分的に改善をしてもらいたい。</p>	<p>今後は乗車する人がいないバス等を走らせる施策ではなく、地域によっては移動販売などヘシフトしていくのではないかな。</p> <p>生活様式が変わっていく中で地域交通は正解を見つけるのが難しい。地域の業者と一緒に地域の交通を作る仕組みを考えていく必要があると考えている。将来的には運転手がいらぬ車になってくる。行政の役割としては、交通手段の役割をみんなで作っていき、これからの自動運転時代に向けて、市は自動運転の実証実験候補地を受け入れる状態を作るなどしていく必要がある。</p> <p>地域交通は地域性があるため、ここで正解を出すのはできないが、地域や議会、行政と一緒に今考えられる事に必死で取り組まなければならない大きな問題である。</p>
<p>移動販売は補助があった時で、利益がゼロの状態だったと聞いている。ネットで購入することもできるが、年配者は実物を見て購入したいと思っている。</p>	
<p>中国5県で広島県が英語検定3級レベルの取得が最下位である。東城町も世界に誇る観光名所がある。世界に通じるためにも庄原市は英語の習得に力を入れて欲しい。また、学校教育でも地元の誇れる文化に直に触れて欲しい。</p>	<p>庄原市も英検に力を入れているが目標値に達していない状態である。今後の教育も学校だけでなく、保護者や市としても変えていく必要があると思う。長期総合計画で定められた目標値に対して、庄原市は低いことは認識している。</p>
<p>庄原市議会でもYouTubeで発信しているが、議場にいかなくても好きな時に視聴できるのは助かっている。YouTubeで配信している効果はどの程度表れているか。</p>	<p>YouTubeで配信しているため、実際に議場で傍聴されなくても、ライブ中継での視聴が可能であったり、後日、気になる一般質問をする議員がいれば、日を置いてでも視聴が可能である。また、委員会も動画配信をしている。効果で言えば、閲覧数をカウントする機能があるためどの動画の視聴が多かったかも知ることが出来る。</p>
<p>市長が変わり施政方針について議員の思いが知りたい。</p>	<p>新市長になったが予算については前年度からの流れのため、新市長の特色は見えない。一般質問などで議員が聞いてもいるが、新市長のカラーはこれから出てくると思う。</p> <p>市長就任から半年経過したが、新市長は職員の活躍する場所づくりに重きを置いていると感じる。</p>

<p>市道の草刈りをしているが他の自治体と比較すると報酬が少ない。また、最近は大雨が急に降り側溝からあふれた水が田んぼに入ったりしている。</p> <p>市道の草刈りは高齢化が進んだ自治会ではできない。そのため業者に依頼する所が増えてきている。これから庄原市は業者への委託料がかなり増加していくのではないかと。</p>	<p>現在の庄原市の景観や家を継続的に守れているのは、地元の人たちの努力や協力があつたため守れている。そんな中で今後は都市部との協力が必要だと思う。庄原市を応援する事業所などから「ネーミングライツ（命名権）」という制度を活用して、市道や公民館の管理費を、都市部の事業所から徴収する方策はないかと財政課長と話をし、地域のあり方を検討している。</p> <p>自治振興区と住民が一緒になって考えていかなければ成果がない。先ほどのような「ネーミングライツ」についても、自治振興区と住民で問題意識を持って考えていかなければいけない。イベントだけで集まる場でなく、今後の課題では福祉問題や防災問題についても取り組んでいく必要があると思う。</p>
<p>自治会長となってみて、現状は振興区に問題を丸投げされているような印象を受ける。自治振興区の現状をもっと行政と連携して問題点を共有したい。お互いの理解がないと良い形にならない。</p>	<p>自治振興区も合併して 20 年が経ち様々な問題が出てきている。それを自治振興区へ全て任せてはいけない、今後の自治振興区のあり方についても検討すべきとの、議会でも共通した認識を持っている。</p> <p>ただ行政も現在の能力では、各地域の問題が激変する中で、適正活動をするために自治振興区の力を借りなければいけないことは理解いただきたい。</p> <p>いただいた意見はそれぞれが会派で取り組むこと、議会全体で取り組むこと、委員会で取り組むこと、議員個人で一般質問をされるかもしれませんが。今回の意見は、議会でもまとめて共通認識として受け止めさせていただきます。</p>

NO.12 東城地域田森地区

テーマ：安心安全な地域づくり

参加者意見	議員意見
<p>振興区で来年度から自主防災組織を立ち上げる。この地域は真砂土なので危険な地域で、避難所の田森自治振興センターは土砂災害警戒区域である。田森自治振興センターでは対応できない災害の場合に、第二避難所となっている粟田小学校についても、これから先避難所としてどう活用していくのか、体育館はどうするのかを考えている。</p>	
<p>現在田森自治振興センターが第一避難所になっているが、災害があればそこまで行くのは現実的ではない地域もある。非難しやすい避難場所に簡易ベッド等を少しでも配置して欲しい。</p>	
<p>農林水産省が農村 RMO という制度を作った。行政サービスでは対応しきれない地域を支える仕組みである。庄原市の地域もそういった制度で組織を作る必要がある。</p>	

<p>小学校の活用方法を行政や議会も一緒に検討して欲しい。この先人口減少で廃校となる小学校も出てくる、市の振興策として、小学校の活用を早期に取り組んでもらいたい。</p>	<p>議会としても正解を模索しているが、やはり地域での意思統一が必要である。地域で一体となつての協力体制を作り、盛り上げていく地域もある。移住者を歓迎するなどして人口減少について対策案を考えている。</p>
<p>課題検討をする中で、一体となつて具体例を示していただきたい。私達だけでは、どういった事をすればいいのか良い案が出ない。</p>	<p>「廃校の活用を検討する会」という集まりを開き、地元の方や保護者、市役所の職員など多く集まり、廃校の活用について検討したことがある。個人的には他の自治体の事例を参考にするよりも、一つの議題に対して集まり検討した方が良い結果になると思う。</p> <p>人口減少も踏まえ、地域の特性も考えながら、様々な角度から意見を集めるのも必要なポイントである。廃校の活用は、庄原市全体で直面している問題である。</p>
<p>他の小学校のグラウンドは運動広場として市からの補助金で運営していると聞いた。廃校になり地域の普通財産になれば維持が難しい。粟田小学校は歴史的な背景として残す必要があると地域で考えているので、是非とも協力して欲しい。</p>	
<p>粟田小学校は避難所でもあり、ヘリコプターの着陸場にもなっている。ドクターヘリも何度も着陸している。そういった面でも地域には重要な場所であると知っていて欲しい。</p>	
<p>防犯カメラについての補助金を出してもらうように市に訴えた。議員も防犯への補助金についてどう思われているか。</p>	<p>防犯カメラについては議員として一般質問で取り上げた。補助金についても多くの声が届いている。他の自治体では補助金を出しているところもあるが、庄原市も検討中とのことであり、設置場所なども県のガイドラインやプライバシーの問題もある。予算が限られているが、防犯意識が高い今こそ設置が必要と考えている。</p>
<p>防犯カメラを個人的にも設置した。地域でも防犯意識が高まっており、郵便局でも防犯ステッカーを貼っていただき感謝している。我々地域でも、やる事はやっていかないといけないと思っている。</p>	

NO.13 東城地域東城地区

テーマ1：東城のまちづくり

参加者意見	議員意見
<p>東城地域は盆地、道後山からの成羽川の水害対策、314号バイパスの立ち退き、免許返納後の地域交通問題など課題ある。5年と10年と人口が減少し少子高齢化進むが住みよい街をめざしたい。</p>	

<p>街なかの道路、歩道広く、車道を狭くし電柱の地下埋設を期待していた。舗装は良くなったが観光客に魅力を感じてもらえるだろうか？電柱があると道路が狭く、また景観的にも良くない。魅力を感じ安心して街を散策してもらえるよう整備を希望している。</p>	
<p>災害時、川の東側への避難が難しい。川の西側の地域にも避難所が欲しい。</p>	
<p>東城地域は豊かで安心なまちづくりをめざしている。今後、介護が必要な方が増え、介護福祉サービスの充実も必要。また、地域公共交通ではライドシェアや備北交通でドライバーを養成し福祉タクシーの運行ができれば考える。</p>	

テーマ2：地域公共交通・芸備線・東城高校

参加者意見	議員意見
<p>地域交通について、現在、市は来年3月の策定をめざし地域公共交通計画の見直しを行っている。乗る人がいるかどうか分からないまま、大きなバスが走っている。バスも高速バス等都市間を結ぶ路線や通院通学等のバス路線など乗車率の高いバスは残し、それ以外の乗車率の低い、空のバスは全て廃止し、必要な時に利用できるデマンドタクシーに切り替える方が効率的で便利だと提案をしている。市は交通事業者、地域の方の意見を聞いて、今後の地域公共交通計画を策定するとの見解である。</p>	<p>総領地域では地域バス路線は廃止するが、「こまわりくん」を1台から2台に増やす。「こまわりくん」はドアツードアで総領地域内でしか走れないため、庄原へのバスの便数を増やすなど運行形態が見直された。東城地域も地域で話し合っていたきたい。</p>
<p>「お通りバス」は東城温泉があるということで日曜日は運休となっている。これで良いのか？ 「お通りバス」も利用が多くない、経費のかからない交通手段に変えるべき。</p>	<p>東城地域には「お通りバス」があるが、これについて提案、ご意見があればお願いしたい。</p>
<p>庄原と各地域のネットワークが必要だが庄原東城間は道路が悪い早急な改良をお願いする。</p>	<p>県道なので県へ要望しているが県土木は、314号と182号をつなぐ道路改良を先にと考えている。庄原・帝釈間の道路改良の要望を引き継ぎ行っていく。 自分自身、広島市内から地元へUターンした。今後Uターン・Iターンや関係人口の拡大のためには、道路改良は必須であると身をもって感じている。県や市へ要望していきたい。</p>
<p>「お通りバス」の時刻表など、分かりやすくPRすべきだ。 車を持っていないので「お通りバス」はいつも乗っている。時刻表を見ないと乗れないと言われる人は乗らない人だと思う。</p>	<p>地域交通の特別員会で市内の鉄道・バスに殆ど乗ってみた。ただ「お通りバス」に乗れなかった。今年度も地域交通の特別委員会を設置して精力的に取り組む予定。 市としては、PRをしているが、もっと乗ってもらえるような取り組みが必要。</p>

<p>東城のまちづくりを考える時、芸備線と東城高校の存続問題はとも重要。芸備線も新見の眼科通院で利用している。高齢化すると芸備線とバスは絶対必要、しかし広島から東城へ帰れない。庄原から東城までも不便、東城の議員は無関心。芸備線・東城高校の問題を議員はどう考えているのか。</p>	<p>沿線自治体、広島市・安芸高田市・三次市・庄原市の議員で協議会をつくり、ともに活動している。鉄道は庄原市だけで解決するものではない。ともに勉強会や陳情活動を行っている。今月末も国や地元国会議員へ陳情に行く。我々議員としても出来ることはやりきるつもりでいる。</p> <p>東城の議員としても芸備線を残したいと思っている。また、東城高校についても校長と意見交換を行っている。市と住宅の活用も話している。芸備線・東城高校とも、ぜひ残したいし、今後とも活動していきたい。</p> <p>両親の出身が西城・高川西なので、広島から子どもの頃、芸備線を利用して帰っていた。芸備線について愛着ある。廃止するのは簡単、でも、つくるとなると難しい。今の芸備線を活かしていくべきだ。地域交通についても残すものは残す、残さなくてよいものなくし利便性を高めていくことを考えたい。</p> <p>県立高校を残していく活動に補助金も出している。しっかりみんな関わっていきたい。</p>
---	--

テーマ3：災害・自主防災組織

参加者意見	議員意見
<p>川西地域に避難所がない。災害時に毛布や非常食をお願いしたが充分な対応ではなかった。補助をもらって炊き出し用具やテントを購入したが避難用品の備蓄が足りていない。今集会所や市民住宅を避難所として使っている。川西地域に強固な建物の一次避難所を市が指定して欲しい。また、市職員が配らなくても済むような住民が自由に使える備蓄倉庫が欲しい。</p>	
<p>東城中町は3mの浸水など最悪の場合、しまなみ信金ビルへ避難させてもらうよう支店長と申し合わせている。市へ要望するだけでなく、自分たちで考えて対応できることもある。</p>	<p>災害関係は予算的が充実している。私の地域では自主防災組織を立上げ、備品の購入や避難訓練なども行っている。</p>
<p>自主防災組織は2か所しかない。</p>	
<p>東城中町も自主防災組織を立上げている。他にも組織しているところは複数あるのでは…</p>	
<p>12月3日自主防災の研修会を口和自治振興区から講師を招いて、東城自治振興区主催で川西地域・川東地域始の10班を対象として開催する予定としている。</p>	
<p>最近の災害は局地的な災害となっている。自主防災組織のネットワークを活かして、災害のない地域から災害を受けた地域へ災害用備品等の貸出し等を行うような供給体制の構築が必要と考える。また、市が自主防災組織にどのような災害用品を揃えておくべきかリスト化し情報提供すべきと考える。</p>	

<p>東城の川東地域の避難訓練に参加したが、全員が同じリュックで中身もそれぞれ用意されていて感心した。こうしたネットワークの構築が大事だと思う。</p>	
--	--

テーマ4：都市整備

参加者意見	議員意見
<p>東城都市計画の中で、まちなかの無電柱化が令和10年までに2期に分けてやると計画されていたと記憶しているが、都市計画はどのようなになったのか？</p>	
<p>東城まちなかの公園がどこにあるのか？よく聞かれる。前市長は公園をつくると言われていたが、なかなか進まない。</p>	<p>東城まちなかへ公園がないのは、とても残念。いつできるのか？本気で考えて欲しい。</p>
<p>マンホールカードを集めている。東城も資源がる。山口市は4つもあり好評。新しい観光客の誘致につながるのではないか。</p>	<p>庄原駅にあるマンホールを知っていますか？</p>
<p>知っているが、カードがない。庄原市としても取組んで欲しい。</p>	<p>マンホールカードについては、また違った視点でマニアックな人たちの誘致につながるの、議員としても早い者勝ちで提案していきたい。</p>

テーマ5：有害鳥獣被害

参加者意見	議員意見
<p>最近、イノシシに加え、シカもサルもクマも出る。新たなネットも必要だが予算が足りない。</p> <p>駆除ハンターも高齢化している。森林環境贈与税を活用しバッファゾーンをつくることも考えて欲しい。農作物を有害鳥獣の被害から守らなければならない。</p>	<p>有害鳥獣被害も農業施策と合わせて取り組みたい。産業建設常任委員会で取り上げている。全国の先例地の情報を幅広く収集し効果的な対策をつくるよう取り組んでいる。有害鳥獣対策では処理施設が増築され、イノシシ 700 匹・シカ 150 匹の処理能力となった。また、新しい広島県知事は農林水産省の出身、我々もしっかり県や国に対して中山間地域の課題解決へ向けて要望していきたい。</p> <p>有害鳥獣の駆除の実績はイノシシ 1,324 匹・シカ 266 匹・カラス 28 羽・アライグマ 32 匹・ヌートリア 103 匹となっている。</p>

テーマ6：空き家対策

参加者意見	議員意見
<p>もう住めないような、リニューアルできない空き家の対策はどうなっているのか？</p>	<p>空き家対策特別措置法があって危険建物・環境著しく害する空き家は行政が取り壊すことができる。所有者がいる場合は取り壊し経費を請求できる。そんな建物があれば市に申し出てもらえればと思う。</p> <p>去年は3軒取り壊している。</p> <p>危険な部分だけ取り壊すケースもある。</p>
<p>市営住宅の老朽化について、計画的に取り壊す必要がある。草も相当しげっている。</p> <p>老朽化している住宅へ一部住んでいる方もおられるので建て替えが必要と考える。</p>	<p>担当課は今のところ新築の予定はないという見解だ。</p>

<p>防犯灯を設置するのに下水道の電柱を利用させて欲しいとお願いしたが許可されなかった。</p> <p>もっと柔軟な対応が必要。また、東城で殺人事件があったが、防犯カメラの設置補助が必要と思う。</p>	<p>防犯カメラ設置の補助は今のところないが、個人に対する補助を担当課で検討していると聞いている。予算化されるかどうかは今からになる。</p> <p>今日の皆さんのご意見を聞かせていただき、今後委員会や議員活動に活かしていきたいと考える。積極的なご発言に感謝する。</p>
---	--

NO. 14 東城地域帝釈地区

テーマ 1：自治振興区のあり方

参加者意見	議員意見
<p>自治振興区制度が発足して 20 年経過、大きな問題は振興交付金、人口が少ない自治振興区は毎年減額されている。帝釈自治振興区は地域包括システムの活動を自治振興区で初めて取り組んだ。今の振興交付金の仕組みでは、今後の活動がやっていけない。また、特別交付金で算定される賃金を引き上げてもらいたい。職員の待遇改善を強く要望する。あまりに賃金が低すぎる。職員の人材確保も困難を極めている。議員の皆さんはどのように考えられているのか。意見を聞かせて欲しい。</p>	<p>私もそのように思う。自治振興区の事務局長や職員の給与は市職員の初任給や会計年度任用職員より低い、賃金の引上げが必要。振興交付金については高齢者比率とか年少人口比率などを用いて算定するので、結果的に子供の多い自治振興区は増えて、少ないところは減っていく。算定方法を早急に変える必要があると思う。</p> <p>私の地域の自治振興区職員からも給与が安く、人材確保が難しいと聞いている。改善が必要と思う。</p>
<p>自主運営公民館時代から給与は変わらない。年金をもらいながら働ける人材でスタート。若い人に働いてもらえない。後継者が育たない。ボーナスもない。民間企業等のように賃金を上げて欲しい。</p> <p>子供の多い所は、交付金が多く、高齢者が多いところは少ない。どう考えておられるのか。自治振興区センターは、地域の心の拠り所になっている。</p>	<p>高齢者が多いから少なくなっているのではない。今の振興交付金の算定方法では、結果として子供の多い振興区ほど交付金が多くなる仕組みとなっている。自治振興区がスタートした頃と今では、社会の状況が全く違う。交付金の算定方法が時代に合わなくなっている。改定が必要、また、今後 10 年を展望した自治振興区のあり方も考える時期にきている。</p>
<p>11 月 25 日に市長・副市長等と連合会の役員との話し合いを行うようにしている。人件費を上げることは昨今の状況を考えると当然のこと。議会としても、しっかり応援して欲しい。</p>	<p>その際には、ただ上げて欲しいではなく、具体的な待遇改善の案を市長・副市長等へ投げかける必要があると思うが…</p>

テーマ2：地域交通

参加者意見	議員意見
<p>始終東城線は備北交通が撤退した。公共交通空白地域や免許返納後の交通手段の確保など極めて深刻な課題。早急に抜本的な対策が打って欲しい。このままでは、暮らしていけなくなる。</p>	<p>乗る人がいるかどうか分からないまま、大きなバスが走っている。バスも高速バス等都市間を結ぶ路線や通院通学等のバス路線は必要。市長の所信表明の中に「行きたい時に行きたい所に行ける公共交通の構築」をめざすとある。実現のためには、ニーズがあって動くタクシーの利用が不可欠。乗車率の低い路線バスは廃止し、デマンドタクシーと乗車率の高いバス路線で再構築を図ることが必要と考える。市民タクシー事業も利用条件があり厳しく利用しにくい。利用条件を撤廃すべきだ。そうすれば免許返納後や交通空白地域に着実に対応できる</p> <p>帝釈の村上郵便局長からの提案を紹介する。利尻島ではヤマト運輸の宅配とともに人を運ぶ実証実験をしている。ゆうパックの宅配を活用し人を運ぶことは出来ないか。</p>
<p>いずれにしても地域交通は喫緊の課題、庄原市として、早急に方向性をしめして欲しい。</p>	
<p>市民タクシー事業をやっているが、始終等では通院など東城より西城に近いが西城町へは利用できない。利用条件が多すぎて利用しにくい。雪が降ると難しいが、将来的には自動運転なども検討して欲しい。免許を返納すると、この地域では身動きが出来なくなる。</p>	
<p>庄原市が直接、バスを運行できないか。</p>	<p>市が直接運行することは出来ない。市の職員は少なくなっている。議会としても地域交通は喫緊の課題と捉えている。現在、新たな長期総合計画や地域公共交通計画が策定中である。このため、特別委員会を設置し地域交通の再構築に取り組んでいきたい。</p> <p>例えば、各自治振興区へバスを購入して、自治振興区が運行することができないか。できるかできないかは別として検討していく。</p>

テーマ3：農業問題

参加者意見	議員意見
<p>庄原市の農業支援策は大規模農業や法人等を中心とした支援制度になっている。この地域は農地の集積もできないような小規模農家・兼業農家が多い、こうした小さい農家や兼業農家への支援策も考えて欲しい。米の生産も生産量が増えて米価格の下落も想定され、先が見通せない状況になっている小規模農家へも農業が継続できるような支援をお願いしたい。</p>	<p>今年は米も高値で推移しているが、先が読めない。一方で農業・畜産等の資材やエネルギー等の高騰も著しい。小規模・大規模農家とも安定した経営が維持していけるような資材高騰等への支援が必要と考える。</p> <p>大規模農家の支援も大切だが、小さい農業、手に負える農業の振興も大切、健康づくりや生きがいを促進し豊かな暮らしに貢献できると思う。</p>

<p>米の生産をミニライスセンターまでやっている。規模拡大といっても米の先行きが不透明で、どのように推移するか、見通せない、さらに後継者へ、なかなか規模拡大のための設備投資などすすめられない。今のままを維持し自分の代で終わるかもしれない。誰も高齢化し、大方の人は、いつまで続けられるかわからないというのが今の状況だ。</p>	<p>兼業農家の方は農機具の補助等はどう思われるか。担い手対策にならないか。</p>
<p>農機具も値上がりするばかり、小さい農家では、補助があっても、自分の代では、農機具の購入まではできない。誰もそのように考えていると思う。</p>	<p>私はトマト農家ですが、資材や電気、燃料などが高騰し3倍になっている。これで、利益がでるのかと考えてしまう。厳しい。</p>
<p>Uターンして兼業で農業している。50代だが地域では一番若い。親の背中を見て農業継いだが大変。できるなら辞めたいと思っていた。シイタケの栽培もしている。インバウンドや日本食人気、米が美味しいと喜んでもらうと嬉しい。最近、農業の面白さを感じている。仕事辞めて年金生活になれば仲間と一緒に耕作を請け負うなど、規模拡大もやってみたいと話している。</p> <p>農機具が高いので、農業辞めて農機具を売りたいという方の情報が欲しい。</p>	
<p>農機具は高くなるばかり、田植え機などはその時期しか使わない。米の価格も先が見通せない。経営が赤字になる。とても設備投資などできない。</p>	<p>例えば、国が進める農業構造転換集中対策で、もう一度、圃場整備を行い、スマート農業による取組みや米の直播栽培など農作業の省力化を図ることなど、どのようにお考えですか。</p>
<p>直播は水の調整など田んぼの条件による。この地域では出来ない。</p>	
<p>私の家もパートナーが倒れたら、私と娘だけでは農業は続けられない。誰かへお願いするにしてもコストがかかりすぎる。高齢化が進んで受け手もない。農業の担い手を育てて欲しい。今の状況では、耕作放棄するしかない。</p>	<p>市も地域ごとに農地の集約・集積をすすめ将来の利用方針を描く「地域計画」に取り組んでいる。地域で農地の集約をすすめ担い手を確保し、そうした課題の解決になれば良いと考える。</p>

NO.15 東城地域久代地区

テーマ：防犯対策、有害鳥獣対策、観光振興と施設整備

参加者意見	議員意見
<p>防犯対策について、今年6月に東城で不幸な事件があったが、犯人はまだ捕まっていない。都市部では多くの防犯カメラが設置されており、捜査段階での防犯カメラのリレー捜査が有効である。県内では防犯カメラへの補助金がある自治体もある。庄原市では防犯カメラの補助金制度がないので庄原市でも検討してほしい。</p>	<p>事件を受けて、防犯組合が寄贈されたと聞いている。市も新たに数か所設置した。補助金については前向きに検討していると聞いている。</p>

<p>防犯灯補助金制度は新設する場合のみの制度であり、修繕には対応していない。また、迷惑電話防止機能付き電話の設置についても補助金がある自治体もあると聞いている。これらについても補助金を検討してほしい。</p>	<p>事例を調べて市に伝える。</p>
<p>有害鳥獣対策について、久代は猪、鹿の被害も深刻だが、特に猿の被害がとて深刻だ。更に最近では熊の目撃情報もあり心配だ。有害鳥獣補助制度の 1/2 補助で上限 6 万円の基準では現在の物価高騰の中では厳しくなっている。また、獣害対策用の花火使用の講習会へも新見市では補助金を出している。それらへの対応への補助金も検討してほしい。</p>	<p>現在市では県からテゴスの職員が常駐し、獣害対策に動いている。猿に関しては雌猿に GPS を装着して調査を試みている。また ICT を活用しドローンで群れを把握し効率的に捕獲する方法についても検討している。</p>
<p>草刈りをしていない耕作放棄地や手入れできていない空き家が増えてきている。森林環境譲与税を活用して整備できないものか。</p>	<p>整備していない耕作放棄地などは猪などの隠れる場所になったりするので整備することは必要と感じる。そのような場所で子どもを産めば獣にとってはその場所に居着く可能性もあるので、課題と認識している。</p>
<p>帝釈での落石事故の影響で観光業は大きな打撃を受けている。悪い情報が広まると観光には更に大きな影響が出る。まだ原因が分かっていないが、原因が分かり次第正確な情報をメディアで伝えてほしい。</p>	<p>調査中と聞いているが、ご遺族のお気持ちにも配慮しながら、正確な情報を報道されると思う。</p>
<p>東城は庄原市の東の玄関口だ。道の駅のトイレの整備ができてなければ庄原を訪れる人が庄原に抱く印象が悪くなると思う。トイレは最優先で整備してほしい。</p>	<p>今後の方針などを議論していきたい。次の実施計画に乗る様に議員としても動いていきたい。一度に全部のトイレを整備するのではなく、一部だけでも整備できればと思う。周辺の鯉が窪や三和のトイレは綺麗なのに、東城が悪ければ印象が悪い。地元からも要望を上げていただければと思う。</p>
<p>まほろばの里の利用者が少ない。利用促進策はどのようにすればよいか。</p>	<p>時悠館は頑張っておられる。時悠館とセットで集客できれば良いと思う。帝釈峡と秋吉台は地質学上で見ると同じ地質なので、他県であっても同じジャンルで連携していくのも効果的だと感じる。</p>
<p>イルミネーションを 1998 年から続けているが人口減少と高齢化で今後は続けられなくなる。 今後活力が更に失われていく中で、新しいことをやろうというパワーは無い。クマが出るような場所には移住者は来ないと思う。</p>	<p>移住対策を行っていても、クマが出るかどうか聞かれることは実際にある。移住者にとっては気になるところだと思う。</p>
<p>里山留学で民泊をやっているが、来年度以降も継続した取り組みになるのか。</p>	<p>里山留学は、参加者同士で庄原を盛り上げるような活動をやる若者たちも出てきている。今後も継続していく予定だ。</p>

NO.16 東城地域新坂地区

テーマ：共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」

参加者意見	議員意見
<p>前日も市民と語る会で言わせてもらったが、人が乗らないバスを走らせるなら、バスの需要がある新坂地域へバスを走らせて欲しい。前回からの進展があるのか、これからの過疎地域には今対策してもらわないと、どうにもならなくなる。</p>	<p>議会でも新坂地域の交通手段の確保について話を進めさせてもらった。デマンド交通で実証実験が始まり、実証実験の重点箇所から実用化された経緯がある。定時定路線の交通手段は通勤や通学、通院では需要があるが、一方では効率が良くない場合もあるため議論の対象となっている。個人的な意見では、今後は庄原市が今取り組んでいるドアツードアでのデマンド型になっていくと思う。</p>
<p>私が危惧しているのは、このままでは10年後は誰もいなくなる。住民が定住できるような知恵を出して地域を守ってもらわないといけない。今後は免許証の返納も迫っているため十分に議論して住民が残れるようにしてもらいたい。朝晩の交通がなければ未来が見えない。</p>	
<p>予約運行では現在ニーズが少なく、定時運行のニーズがある。地域生活バスから市民タクシーと変換してきた経緯があり、地域生活バスのニーズが新坂地域ではあった。</p>	
<p>スクールバスの利用は小学生までのため、中学生になればスクールバスがない。中学校が廃校になった場合はスクールバスが出るが、そうでない地域は親の送迎になる。そういった現状をある程度調べてもらいたい。</p>	
<p>新坂はクリーン作戦を実施する際の側溝に堆積する枯れ葉が問題となっている。雨量の多い時期には、不整備の隣の側溝から、東城町へ大量の水が流れている現状もあり、地域住民の対応も限界になってきている状況であり、市からも対応を願いたい。地域の課題として側溝の問題などを提起して欲しい。</p>	<p>市道の整備は市の仕事であるため、行政は地域の要望があれば必ず対応する。そこまでして行政が対応しないのであれば問題である。</p>
<p>東城町内で受診できない診療科目があるため、免許返納した者の通院について考えて欲しい。タクシーにしても出費が多く、通院について交通費の補助を出してもらいたい。庄原市に出られても長時間座って待つ事もあり、病人への配慮を要望する。</p>	
<p>移動診療車もあるが、その場所に行くまでの交通手段がないのが現状である。</p>	<p>東城町で受診できない診療科目を移動診療に頼るのは現実的ではないため、交通手段についての問題解決が必要とは考えている。</p>
<p>交通問題については運転手不足がついて回る。庄原市内でもやっているライドシェアの取り組み等で、効率の良い形で問題解決して欲しい。</p>	<p>庄原市内で現在実施しているライドシェアは、夜の交通手段の確保で終わるものでなく、その先の目的として、地域この仕組みを落とし込んでいくかが重要になっている。</p> <p>公共ライドシェアの実証実験は、庄原市として一丸となり問題に取り組んでいく姿勢が出てきている。地域に落とし入れていく事や、問題解決に取り組む姿勢も庄原市に明るい兆候だと思う。</p>

木山市長から八谷市長に変わって変化はあるのか。	政策的には変化を感じていないが、市役所職員については笑顔が増えたと言われるが、八谷カラーは出ていないと感じる。
	市長としてのやり方があるため、変わっているといえば変わっている。四月から見て悪くなっているとは思わない。市政懇談会では八谷市長は積極的に発言される印象がある。

NO. 17 口和地域口和地区

テーマ：議員、議会へ望むこと

参加者意見	議員意見
支所の在り方について、支所長が室長兼務や年間業務を踏襲しすぎているように感じるが、支所機能についてどう思っているのか。	本庁と支所機能の役割は合併時から変えていないという答弁があるが、新規職員は市外からの職員も多く、昔のように地元出身の職員がおらず、地域の方との距離が遠くなっていると感じる。地元採用枠を設けられないのかという提言もしている。支所長については、地元の方に努めてもらっているが、職員人数が少ないことが問題である。今後も支所にも人員配置について要望をしていく。
	支所は独自で決済できることが限られており、他地域では、支所に権限がないコンパクトなやり方をしている自治体もある。庄原市については、面積が広いため支所長でも決済をできるやり方を模索してほしいと感じる。
支所から政策提案や事業提案をすることはできないのか	できなくはない。支所管内で管轄している施設がある。また支所長ができる判断には、いろんな規則があるため、規則を見直していくことを提案していく必要がある。
	予算が決まっていることがあるので、本庁と支所で密に連携をとる必要がある。
議員報酬について、今年から報酬があがっているが、どのように感じるか。	報酬自体は上がっているが、社会保障が少ない。社会保障を手厚くしてほしい。議員には、議員年金や退職金もない。
子供たちの通学について、数年前に統合され、スクールバスで通う子供も多い。スクールバスについてはいつまでやってもらえるのかという不安や通学路の草刈り、スクールバスの暖房器具も壊れている状態。どのようにすれば子供たちが安全に通学できるのか。また、除雪も 20 センチを超えないと除雪してもらえない。議員として働きかけてほしい。	通学路の草刈りについて、夏場は頻度が多い。土砂をとれば草刈りの頻度を少なくすることができるのではないかと。除雪については、予算との兼ね合いもあるが、市に対して働きかけたい。
	小学校単位での要望があがってきているのか、分かりかねる部分もあるが、歩道の除雪ができない理由として、幹線道路である国道、県道が優先的に除雪される。また、地域は地元建設会社が担っていることがおおく、どうしても遅れるところが出てきている。地域に小さな団体を新規で作成し、市と契約を結んで除雪を担っていくこともできるのではないかと。

<p>有害鳥獣対策の助成制度について教えてほしい</p>	<p>本市が行っている助成金について、電柵 6 万円、檻 8 万円で実施しており、満額での助成を行っている。その他、柿の木の伐採の助成金、クマ被害の条例変更など、進んできている。</p>
<p>クマの目撃情報について、目撃件数をちゃんと報告していない可能性がある。目撃情報をちゃんと報告する旨を市からも発信してほしい。情報を整理することで罾を仕掛ける場所などを検討できると思うがどのように考えているのか。</p>	<p>口和地域でどのぐらいクマの出没があるのか。</p>
<p>昨年は 1～2 匹。檻に入っているのを駆除した。口和のみでなく高野地域は出没情報が頻繁にある。イノシシのくくり罾にクマがかかって怪我をしたという報告もあがっている。罾を積極的にしかけるよう働きかけてほしい。また、鹿についてはこれからどんどん増加していく。電柵だけでなく、2m を超えるような柵が必要だと考えるがどうか。</p>	<p>現在の補助制度でシカに対応できるか、検討はしたい。</p>
<p>米国の核使用についての意見書を出されたと思うが、防衛相に確認をして抗議文を出したのか。</p>	<p>賛成した要因は、核兵器を廃止し、市議会として平和を進めていく中で統一したという認識である。</p>
<p>地域の草刈り整備や低学年が使うプールの整備など、保護者のボランティアで成り立っている部分がある。これからどンドン人材がいなくなっていく中で、良い知恵がないか。</p>	<p>他地域の事例だが、保護者として刈るのではなく、地域団体を作りイベントとして草刈りをし、地域を巻き込んで実施しているところがある。また地域のスポーツ少年団に保護者に対して、市と契約をして行うという方法もあるのではないかと。</p>
<p>口和地域は JR 以外の生活路線が重要になると考えているが、バスの計画については、しっかりと整理してほしいがどのように考えているのか。</p>	<p>市が委託している生活バスは、昨年ダイヤ改正があつて、待ち時間が多くなったという意見があり、ある程度、地域住民の声をまとめる必要があると感じる。定期交通の場合は、バス停の問題もあるのでダイヤはすぐには変えることができない。</p>
	<p>現状、たくさんの路線があり、三次行きや庄原行き、スクールバスなど多岐にわたっている。自治振興区単位でまとめてもらい、要望を提出するという流れが望ましい。</p>
<p>農業従事者の担い手について、口和地域には法人が 4 件あり、法人に負担がかかっていると感じる。現状では受けることができているが、後継ぎの問題がある。面積が増え、機械も大型化していく必要があると感じている。市の補助制度、国の補助制度を知らない人が多いので、しっかりと公開、情報を整理してほしい。</p>	<p>どの地域も同じような課題を持っている。今度の進め方については、農林公社が受けて、農業運営をやっていくという方向も検討されている。また農業基本法の改定に伴い、本市も農業執行計画の策定を進めている。</p>
	<p>法人の補助制度の支援については、たくさんの支援がある中で、どの団体も同じように順番を待ってやっているというのが現状である。</p>
<p>アンテナの問題でテレビが映らない地域がある。テレビ組合の人間も減っており、組合を解散したいがアンテナを撤去しないといけない。庄原市全体で考えるべき事項だと考えるがどうか。</p>	<p>撤去費用についての具体的な話はでない。共聴アンテナを維持する費用を捻出できない。インターネットテレビに移行するのかを検討しており、デジタル化するときに市がどうしていくのかという具体的な話を進めたい。</p>

<p>観光に対して、庄原市にくる手段がない。土曜のバスもなくなった。車がない人はどうしたらいいのか。各地域で祭が開かれているが、どのように観光を進めていくのか。</p>	<p>実際は9割が自家用車で来訪されている。JR が話題となっているが、庄原ライナーなどで来訪される観光客も増えている。今年に限っては、備後落合駅からひろしま県民の森までのシャトルバスを運行するなど、試験的ではあるが、進めている。</p>
	<p>広島駅から備後庄原駅までの高速バスの運行はあるが、庄原市内からの2次交通が課題である。</p>
	<p>路線バスについては、市から補助金を出しているが、観光に特化した交通の補助金はない。</p>
	<p>インパウンドについては、広島市内などはオーバーツーリズムであるが、県内を周遊してくれるような仕組みづくりを進めたい。いかに県内の中山間地へも移動してくれるような仕組みができれば、庄原市の観光客も伸びていく可能性がある。</p>

NO. 18 高野地域高野地区

テーマ1：地域交通

参加者意見	議員意見
<p>地域交通については、「なんずかんずつながる会」で協議してきた。既存の地域交通に人が乗っていない実態を解決したいという思いのもと、おでかけワゴンの再編について取り組み、ルートや料金の見直しをし、その結果利用者が3～4倍になった。</p>	<p>地域交通の関係で、総領町の取り組みを紹介する。同町の「こまわりくん」は平成24年4月から交通空白地有償運送の形態で総領地域内を運行しているもの。</p> <p>地域に交通に関する市の支援の不十分な部分を教えてほしい。</p>
<p>おでかけワゴンがなくなると困る。料金も安価であり、継続してほしい。</p> <p>以前「貨客混載（おでかけワゴンに荷物を積載）」を市に提案したら、人を乗せるモノに、配送物を積載することはできないとの回答だった。地域交通の厳しい現状をふまえ、前向きに検討してほしい。貨客混載により、道の駅等への農産物の出荷などに活用したい。貨客混載は全国的にも取り組みがすすんでいるものである。人口減少のなか、生活支援のための貨客混載は必要。</p>	<p>市が取り組めないと回答した理由を確認する。前へ進めるために、成功事例をもとに骨組みを組み、市と話をすることが必要。</p> <p>市がNOと回答したのは、人を運ぶ公共交通機関で「モノ」を運ぶからという理屈だと考える。</p> <p>実施要綱を改正することが必要。時代に合わせる必要がある。他の地域の事例収集してほしい</p>

テーマ2：定住促進

参加者意見	議員意見
<p>市政懇談会で、市営住宅の増築について要望したところ、市からは、建物は充足しているため、新しい建物は建てないという回答だった。庄原市の定住促進支援は不十分だと認識している。</p>	<p>地域の課題を認識している。企画建設委員会として、市の取り組みを注視するとともに地域の要望を伝える。</p>

<p>市の定住促進の取り組みが20年進んでいない。担当者の異動が課題だと認識。DMOのように事業を外出し、別組織にして専門化してはどうか。専門窓口の設置が必要。</p> <p>高野町に移住したい人が多くいるが入居する場所がない。</p> <p>市に問い合わせがあったものが、自治振興区に丸投げになっている実態。振興区として活動しようにも財源がない。自治振興区の予算の拡充が必要であり、今の状況が続くと持続可能性は低い。</p> <p>旧町で地域実態が異なる。地域の特色を反映した事業や予算措置が必要。</p>	<p>地域実態をふまえた事業の必要性については、市長も認識している。取り組みを注視する。</p>
--	--

テーマ3：農業について

参加者意見	議員意見
<p>米価が上昇したが、課題は担い手不足。担い手対策と生産者への住宅支援が必要。</p> <p>県の農業振興施策は不十分。担い手対策が必要。</p>	<p>国の米政策について、中山間地の実態を国へ伝え、本市に資する事業の確立するよう、国へ働きかけるよう執行部に要望する。</p> <p>県の農業施策（単県事業）は、販売対策に偏重していると認識している。生産対策・担い手確保対策の強化が必要。</p>

テーマ4：道路改良

参加者意見	議員意見
<p>岡大内地域と奥門田の道路事業が途中で中止している。今後の見通しを確認したい。</p>	<p>これまで災害対策事業が優勢されてきた。災害対策事業が終了し、今後は道路工事が進捗すると認識。</p>

テーマ5：認定農業者

参加者意見	議員意見
<p>経営計画未達の認定農業者を支援している実態がある。満遍なく支援するのではなく、経営計画の達成状況等応じたメリハリのある支援が必要。</p>	<p>実態を確認する。</p>

テーマ6：ライドシェア

参加者意見	議員意見
<p>報道で概略を知った。取り組み状況を聞きたい。</p>	<p>公共ライドシェアとは、地域公共団体や住民組織等により、国の登録手続きを得た自動車等を使用し地域住民や観光客等の運送を行うもの。新聞報道の件は、庄原商工会議所が実施主体となり、昼は庄原市内全域、夜間は旧庄原市を運行しているもの。運行期間は令和7年11月1日～令和8年1月17日。</p>

テーマ7：地域の子供への教育に関する財源の確保が必要

参加者意見	議員意見
<p>市内におけるスキー教育を実施している小学校は2校。</p> <p>地域の特色のある教育が必要である。市の考えを確認したい。</p>	<p>長期総合計画の原案に「ひとを育てる」という文言が明文化されている。具体的な取り組みの検討は今後進む。取り組みが進むよう注視する。</p>

テーマ8：クマ対策

参加者意見	議員意見
市の取り組みを教えてください。	クマ対策について、市の直近取り組みを確認のうえ、情報提供する。
他県ではいろんな取り組みが進んでいる。	他県では緊急獣猟の取り組みが進んでいる。本市・本県の取り組みはこれからと聞いている。企画建設常任委員会として有効な取り組みがすすむよう進める。

NO.19 比和地域比和地区

テーマ：共通テーマ「庄原市の未来を語りましょう～6月・9月議会を終えて」

参加者意見	議員意見
新人議員の6月・9月議会を終えての感想は。	議員になって、要望や相談、議会についてなどいろいろと言われることも多くなった。議員一人の個人としての動きではなかなか市を動かすことは難しいと感じているが、議会として動かしていくことはできると思う。勉強しながら頑張っていきたい。 決算審査を終えて、分からないことが多かった。これから勉強しながらやっていきたい。地元の良さを十分わかっているのので、庄原市の中での地元の立ち位置を守っていきたい。
吾妻山のトイレについて自治振興区が請けて掃除をしている。和式トイレを洋式トイレにできないか。今あるトイレ1か所では少ない。ロッジが使えないので周辺に避難所を設置してトイレを増やしてほしい。	土地は県、ロッジは休暇村の所有である。このまま運営業者が決まらなければ取り壊すことになると思う。比婆山と連携することも考えていくことも必要かもしれない。トイレの件は市に伝える。全国的には登山道にトイレを作るというよりは、携帯トイレを持って行き、下山したところで捨てるのが主流になってきているとも聞いている。
県は海沿いの南部に力を入れていると感じる。北部にも目を向けてほしい。	温暖な瀬戸内の気候や風景、海産物、農産物、食品が売りやすいPRしやすいという思いはあると思う。県へ働きかけていかなければならないと思う。それが私たちの仕事だと思う。
公共施設のトイレの整備（洋式化）は先ずやっていかなければならないことだと思う。市域の隅々までトイレを何とかしてほしいというのが市民の強い声だ。	一気にできなくても、例えば二つあれば一つずつでも先にやるなど、考えながらやっていけばと思う。観光地など市の窓口となるところは早くやるべきだと思う。
比和中の統合の話がある。そのような話が出てくると親としては不安になる。	教育委員会は中学校の統合が白紙になったとは言っていない。期限を設けず地域の方々や、保護者と一緒になって、子どもたちにとって何が一番良いのかを時間をかけて議論していく方針だ。

<p>決算書を見れば、どこを改善すべきなのか分かると思う。そのことを次の予算に反映していくことが必要と感じる。</p>	<p>今までの決算審査は資料を読み込む時間も短く、深い議論ができていなかった部分もあったと思う。今年は初めての取り組みとして、各分科会に分かれて事前に勉強会を行った。何をポイントに審査していくのか、課題は何なのか、予算と決算の大きな開きの原因は何なのかなど、事前に詳しく決算書等や報告書を見ることができたので、深いところまで審査することができたと思う。良い取り組みだったと思う。</p>
<p>比和では牛飼養田植えや、やまびこ祭など長く継続しているイベントがあるが、スタッフが高齢化している。西城の芸術線のイベントなどは高齢化している地域でも力を感じた。</p>	<p>何としても芸術線を残したいという住民の意識が高かった。比婆山駅も落合駅も自治会が中心となって実施した。エネルギーを持ってやり続けることが人を引き寄せると思う。</p> <p>山内の移住対策も今後の事を考えて若い世代の地域マネージャーを入れて活動している。</p>
<p>現在農業をやっている人が、さらに高齢化してくると農業を続けられなくなり、農地を譲りたい、貸したいという人が出てくると思う。</p>	<p>若い世代の人でも、地域を守っていききたいという強い思いを持っている人はいる。そういう人たちと、農地を任せたいという人をマッチングし、サポートしていくことが市として大切なのだと感じる。</p>
<p>比和には吾妻山に並んで福田頭という素晴らしい山があるが、以前は景色がきれいで登山客も多かったが、今は登山道の整備もできていないので見晴らしが悪くなってきている。整備が必要だ。</p>	<p>担当課に伝えておく。</p>

NO. 20 総領地域総領地区

テーマ：コンパクトシティについて

・はじめに9月11日に発生した災害に対して、夜の出来事であり夜が明けると信じられない状態であった。そんな中で、行政の迅速な対応に、感謝している。しかしながら、この災害を期に、庄原市外もしくは県外等への移住を考えている世帯があるかもしれないと危惧している。

総領町は今年度から地域拠点のありかたについて、各自治体で委員を出して検討している。今回は総領町の未来のビジョンを聞いていただき、実現につなげたい。今現在の総領町の意見をまとめたものが配布資料である。(※別紙参照) このビジョンを説明した後に皆さんの意見を伺いたい。

総領支所周辺に、町の機能が集約されつつある総領町であるが、改善点として郵便局や日用品売り場、コインランドリーや美容院等の施設がなく困っている。そして今後この中心部を拠点とした地域交通システムを再構築したいのが、支所周辺エリアの考えである。またJAの移動販売や、ホームセンターの機能の充実整備を考えたい。道の駅もお土産中心でなくオートキャンプが対応可能な施設や、地元住民も利用できるドックラン、小さな遊具など整備してはどうか。また、商工会の事務所も支所の中に移転し、業者と一体とする。その上で、支所周辺に無人モビリティがあり周辺を一周する様にすれば、市役所周辺の診療所などへのアクセスが高齢者も便利になる。

また、市営住宅81戸あり、そのうち30戸近くが空き家である。空き家の活用をするために、市営住宅を自治振興区へ管轄してみる。例えば高齢者が一人暮らしになり、施設に入所する前の居住住宅の考えや、技能実習生の場所などにしたい。長期に居住されると家賃が

上がるが、そこを20年の長期入居者には譲る、もしくはリフォーム可能にするといった柔軟な対応をしたい。

また、市営住宅は支所から近くのためモビリティを充実させたい。総領は「こまわりくん」の台数を増やす。

地域循環のバスを廃止し、週2日の福祉タクシーを希望している。そういった形でより良い方向へ、良い形にするため、それぞれの場所へ要望や訪問を行っている。

庄原市の中心部の都市機能を充実させることも含めて、先ほど述べた総領町コンパクトシティについての意見を伺いたい。

参加者意見	議員意見
各自治会から検討委員会として数名選出しての構想である。年齢幅もあり総領町民の多くの意見を取り入れている。	このコンパクトシティ構想として今日集まれた参加者・総領町の皆さんの意見などはあるのか。
この地域が（総領町）が整えばいつでも移転可能な状態と伺っている。	郵便局の移転については可能であるのか。郵便局側の意見はどうか。
<p>多くあるが例えば郵便局を総領自治振興センターへ誘致しようとする、総領自治振興センターは避難所であるため耐震化は必要である。</p> <p>また市としても縦割りではなく横軸での活動をしてほしい。この問題は総務委員だったり、企画建設委員だったりすると思うが、合わせて考えていただきたい。</p>	この構想を実現するための壁はあるか。
	総務委員として、縦割りへ横軸をさしていくことは課題と認識している。縦割りは縦割りとしてのメリットもあるが、総領コンパクトシティの考えを実現するには現在の仕事とは別にチームを組む必要があるのではないか。働き方改革としてダブルワークというわけでないが昨年の総務委員会の方々も提案されている。
	ここまで地域が相当な議論を重ねてきたとわかる。議会的には地域で議論を重ねられたことについては支えていく形になる。
	<p>質の高いサービスをこれからも効率的に提供するにはコンパクト化が必要である。</p> <p>人口減少がおこっている現在で、総領町だけでなく庄原市全体で考えざる負えなくなっている。その中で地域として意見を集約して、このような町にしたいという総領町はいい見本になる。</p>
共通認識ができていると思うので大きく考えの乖離はなかった。	今回の地域の会議で難しかったことはあるか。
<p>長期総合計画作成している中で20年間を振り返ってもらいたい。合併後に人口が増えた自治振興区がある。それは移動可能な人口が周りの自治振興区にいたという要因が大きいと思う。総領、西城、比和町の人口が近くに移動した。市の中心部はそういった面でも人口が増えた側面もある。</p> <p>日本中でも起きている事だが、旧庄原市も広島市へ人口を供給していた町だった。それが供給できなくなり広島市も人口が流出していくようになった。早い段階で周りの地域がその事を整理していれば、昨今のような事になってないのではないか。このことを今回の長期総合計画に反映していただきたい。</p>	

<p>今の総領町は耕作放棄地が増えている。スローファームという観点からでも人口を減少問題に取り組んでいる。</p>	
<p>9月11日に災害があった。即座に対応していただき、被災者も明日への希望を持たたのではないかと思います。ただ緊急時の道路状況などの情報共有が出来ているのかが不安であった。土砂災害等があった場合、救急車などの緊急車両が迂回する事があるため今後も情報共有に徹底していただきたい。</p>	<p>市道の場合は山の奥だと解除の情報が遅れる不安がある。意見がでたことを共通認識としておく。</p>
<p>市道でも交通止めであればホームページ等で発信し、市役所からも発信している。解除であっても発信しているが、今一度連携がとれているか確認していく。</p>	
<p>庄原市立地適正化計画が令和5年10月に策定されたが、その計画の進展についてお伺いしたい。</p>	<p>2年経つが立地適正化計画についての成果等の報告はない。 議会では委員会でも色々な計画の進捗状況を聞くことができる。予算決算でも担当課から報告も受ける。今後企画建設委員会で立地適正化計画の進捗報告を受けることを検討させていただく。</p>
<p>今回の総領のコンパクトシティについても、同じようにアンサーがない状態で何年も過ぎていくのではないかと不安視している。</p>	
<p>今回は総領自治振興区の拠点イメージを話している。立地適正化計画の回答がなく危惧する気持ちもわかるが、今はイメージに向けて進めることがポイントではないか。</p>	

6. 意見交換

NO. 4 庄原地域東地区

参加者意見	議員意見
<p>庄原市へ横山旅館があったが、跡地の活用はどうなっているか。</p>	<p>市が活用する計画は聞いていない。</p>

NO. 6 庄原地域山内地区

参加者意見	議員意見
<p>庄原市議会は新人が8名当選して若返りがあった。市議会の運営や雰囲気など変化があるか。</p>	<p>新人が増えて変化は感じる。以前と比べて変えるきっかけとなっているのかなと思う。一方で会議の運営などが一からの説明となったりする。会派に所属していない議員が多いため、以前のように先輩が後輩に教えるといった流れも少ない。 8人新人であるが、それぞれ様々な経験を持っている。例えば行政の中核にいた新人もいる。それぞれの経験や思いがあるため、今後こういった形で固まっていくのだろうかと思っている。市役所の職員の雰囲気は大きく変わったと私は感じる。 議員個々がそれぞれの思いを持っていると感じる。それを支えてもらった支援者に対して、どんな気持ちで4年間過ごすかが勝負で</p>

	ある。若い議員は先輩議員からその4年間についてしっかり学んで欲しい。
一般質問の内容について議員の思いが見えてこない。重大なテーマに絞って質問を続けるのが必要なのではないか。市議会だよりを見るが、国の流れや他の自治体と似通っている。 広報誌を読んでみて変化の実感がないため言いつばなしと感じる。	議員活動もそれぞれある。議員個人の活動報告紙で報告している議員もいる。 一つの例でいえば夜間交通について、公共ライドシェアのドライバー募集があったが、昨年度の倍以上の申込者があり、庄原市全体で問題に取り組む意識が数字にも出てきている。特別委員会の設置など今までの取り組みの効果があると思う。
庄原市議会で問題解決に向けて、どの程度進んでいるかが見えてこない。一般質問もテーマを絞って4年間で効果が目に見えて現れたら我々も希望が持てる。	例えば4年間を通して計画を立てての質問や、各委員会や予算審査において関連する質疑で追いかけてりと意識はしている。
市政懇談会などでも市側の返答が「検討します。」などで変化を感じない。	議会の動きとしては委員会、場合によれば特別委員会など、議会として次のステップに移る。議員の動きとしては、最終的に議決をしている。 特別委員会を設置した例がある。生活交通の問題でも特別委員会を設置して議論した。各委員会でも研修や、参考人招致、担当課からの現在の聞き取り、そこから庄原市の課題を見つけて提言もしている。本会議までの活動は多くの活動があるが、伝わりやすいような広報誌のあり方も考えている。
高野町で地域交通の良い事例があったと聞いているがどういった団体か。	高野町で「なんずかんずつながる会」という、グループを地域で立ち上げられ、より良い形を模索している地域もある。 海外や国内の事例でも公共交通に対して試行錯誤している。多くの地域の人間でカバーする必要があるため、地域で模索する必要がある。
地域交通は二段階で問題解決を考える必要があると思う。今現在の交通の不便さを解消する取り組みと、もう一方で将来ドライバーが必要なくなる時代がくる。そこに対応できるような準備が必要ではないか。例えば自動車会社と提携して、庄原市を無人運転の実証実験の場にするなどして準備をしていかないと、いざ無人自動車が主流になり始めたときに取り残される。	議員や担当課も悩みながら考えている。買い物と通院は生活に密着しているため、後手を踏まぬように対応していきたい。
遠方から通院する事は、かなりの負担になっている。光回線をうまく活用するなどして、遠方から通院する人の負担軽減を考えて欲しい。	現在無医地区の診療は、移動診療車が庄原赤十字病院と西城市民病院から出ている。今後も光回線を活用しての負担軽減も模索していく。

NO. 12 東城地域田森地区

参加者意見	議員意見
有害鳥獣対策について、対策する人の高齢化と人員不足が問題となっている。議会として具体的な対策があればお示しいただきたい。	庄原市議会の会派要望で、有害鳥獣対策について、新たな課の新設についても要望を庄原市長あてに提出した。市も議会も必死に対策を考えている。
他の自治体でやっている補助については庄原市も取り組んで欲しい。話が大きくなりすぎても結論は出ないと思うので、最低限の事からお願いしたい。個人レベルで出来る電気柵の助成や防護ネットなども現在補助はあるが、それらは最低限の事だと思うので、今以上に補助で助けて欲しい。	
有害鳥獣が住める場所がないため、今の状態になっているのではないか。山の環境が変化している。大きな視点で庄原市は考えてもらいたい。	
農業従事者の平均年齢が上がってきており、私自身も農作業が苦になってきている。このままでは庄原市の農業が立ち行かなくなるため、庄原市も農業のビジョンを打ち立てて欲しい。	
庄原市の森林環境譲与税の使い方がうまくいっていないのではないか。使われていない税金になっているのかと思っている。	
森林整備や農地の整備について真剣に考えて欲しい。来年から農業振興計画が新たになるため、その計画にも盛り込んで欲しい。	
市の職員に専門職の職員が少なくなってきたため、森林農地について専門の職員を育成する必要があるのではないか。それが難しいのであれば、森林組合からの出向など考える必要がある。森林環境譲与税の活用が出来ていないのも、人材育成が出来ていないからだと思う。お金でなく人があってこそなので間違えないでほしい。	公共施設の改装や改修で木材を購入する際に使用もしているが、基金に積んでもいる状態である。新市長になり森林環境譲与税を活用した政策があるとも聞いているので、もう少し活用については見守りたい。
鳥獣対策については狩猟免許が必要なためハードルが高い。まだ比較的危険性が低い箱罠を許可制にすれば、罠を設置して捕獲頭数もあがるのではないか。許可制にするなど柔軟な対応が必要だと思う。	
公務員として身分を保証してあげて、狩猟が好きな人間を採用するなど、有害鳥獣対策について市が本気になる姿勢を見せて欲しい。	現在は資格者を含めた数人でチームを作り、罠を数個設置している地域もある。免許制の資格者が一名必要であるため少しハードルが上がるが、現在の状況でもチームで工夫し、活用できている地域もあると認識している。
太陽光を辞める森があれば広葉樹林の場所にするなど、山の伐採を辞めさせる事が必要なのではないか。市議会議員もそういった認識を持って欲しい。最近では近隣の県でも、熊の目撃情報がなかった場所でも目撃情報がある。庄原市も危機意識を持ってほしい。	熊の目撃情報が多地域では、緊急的にバスでの送迎についても話されてきたが、庄原市全体の問題になってきていると認識している。

庄原市の職員の退職について原因は様々であると思うが、その問題について把握しているか。新市長になりどうなのか。	退職後の傾向としては他の市町へ行くなどあるが、その他にも多くの要因がある。新市長となり半年になって数値で表わせたものはなく、肌感覚であるが雰囲気は明るくなったと感じる。市役所の雰囲気は様々な変化がある。雰囲気が良くなったが、住民サービスが下がったとらないようにしていかないといけない。
庄原市の決算で民生費が非常に多い。人口が減少する中で民生費が倍近く掛かっている事に疑問を感じる。高齢者が多く介護の問題もあると思うが、素人ながらに教えてもらいたい。	高齢化率が上がり今後も高齢化率は下がっていかない。民生費については福祉の関係もあるため下げられないと思う。
クリーン作戦など女性二人でやっているため苦勞している。草刈りなどが遅れている場所では、そういった理由などで、有害鳥獣の被害の原因になると思い頑張っているが負担が大きい。	

NO. 14 東城地域帝釈地区

参加者意見	議員意見
帝釈の村上郵便局長からの提案を紹介する。旧帝釈小学校の2階部分を市内外の小中学生の自然科学の学習拠点、キャンパスとして、1階部分を多目的ホールにして地域交流の拠点、観光拠点、特産品製造拠点としてリノベーションできないか。	
以前、介護施設を検討したが、改修条件が難しく断念した。	
また、宿泊施設として市の方から提案があったが校舎の荒廃著しい。運営の主体は誰が担うのか、改修は難しく限界がある。	
まほろばの里交流館を地元で使用したいとお願いしたが7万円/月の賃借料が必要のことだった。誰が考えても地元が使うには高額すぎる。地域住民が使えるように現実的な対応を考えて欲しい。	
中山峠の道路(県道)改良をお願いしている早急に対応して欲しい。	県の方へお願いしているが、今予定している関連工事を先に施工し、その次にさせて欲しいとのことだった。引き続き要望する。地元議員としても連携し要望していく。
帝釈峡をジオパークとして日本遺産の登録をすすめたい。また、介護保険サービスの利用負担及び訪問看護の利用負担を下げて欲しい。	

NO. 16 東城地域新坂地区

参加者意見	議員意見
新坂自治振興センター付近の道路整備は、今年度中に県道の工事が実施され、来年度は新坂自治振興センターへ続く道を整備する予定	自治定住課への要望を今年を出しているのか。

定と聞いている。道路の状況は建設課が対応し、その先の新坂自治振興センター付近の整備については、自治定住課が管轄のため自治定住課へ要望している。	
毎年要望書を提出して、担当課とのヒアリングも済んでいる。	
市民に一番近い存在の市議会議員は、市民の声を県や国へしっかりと発信して欲しい。	意見を言い続けることが重要であり、あきらめずに対応していきたい。 市民と語る会の意義としては、市民の方と出会って話し合うにも限りがある中で、会場に來させていただき、その地域で生活されている皆様の意見をまとめて、全議員がそのまとめに目を通し、内容によっては一般質問や各委員会で議員が取り上げさせていただく。

NO. 20 総領地域総領地区

参加者意見	議員意見
<p>昨年の市民と語る会で採用条件にある年齢制限の引き上げについて話をさせていただいたが、今年度採用条件の年齢が引き上げられ素直によかったなと感じた。</p>	<p>退職者や採用時期も変えて市も工夫している。</p>
<p>少子高齢化の問題で、生活の基盤が庄原市にあるのかといえばそうでないと感じる。多くの企業が努力しても限界がある。そのため農業従事者の所得の補償が必要でないか。高齢化のため80代では農業に無理があるため耕作放棄地が今後増えていくと思う。また兼業農家が総領町は多い。物価高騰の中でいずれ衰退していき合併が始まる、その解決のため再度伝えるが農業従事者への補償が必要である。</p>	<p>農業だけで生きていけないと、専業農家はいない。市としても実効性のある何かが必要。我が子も旧庄原市に勤務しているが、私も家がなくなる危機感はある。農業の法人化など残すように当事者として考えている。鳥獣被害についても苦労している状態であるため農業は多くの課題がある事も当事者として認識している。</p>
<p>総領町をモデルとして進めてもらいたい。コンパクトシティとして守る政策も必要であるが、人を増やす事も考えなければいけない。市営住宅も多方面からの入居者があるが、働くところがないためこのままでは駄目だと思う。総領に大きな雇用がないためコンパクトシティと併用して雇用の創出も考えていく必要がある。</p> <p>過去も雇用についての議論があった。多くの議論を重ねて総領町はベッドタウンとして活路を求め、上下水道を完備させ市営住宅も多く建てた。今回の構想では郵便局や「こまわりくん」などトランスポーターションという観点で荷物の収集等の雇用が少しだが生まれるのではないかと考えている。</p> <p>子育て世代だが、総領町は30分でいろんな場所へ行けるためベッドタウンとして最適と感じている。</p>	

<p>私は子どもの気持ちを代弁したいが、子どもが今何を欲しがっているかというまずは「同級生」、総領小学校は全校生徒が40人である。複式学級もいい面があり、先生方も努力されていると思うが教育機会の平等としてはどうなのか。大人数だといろんな経験ができるため同級生が必要である。</p> <p>もう一つは電波が必要。ゲームや携帯電話を使用するため大人であればデジタルデトックス等があるが、子どもは電波を欲しがっている。こういった子育て世帯の意見を知っていて欲しい。</p>	<p>庄原市でも電波を課題として取り組んでいる。地デジについても中山間で住民の負担を強めている事態も解決が必要と考えている。</p> <p>同級生が必要なのも各地域での問題である。小学校の合併という意識でなく、新しい学校を作るという理念でより良い形となっている学校もある。重要な子どもたちの気持ちや、保護者の気持ちを考えていきたい。あるものをなくすという事は慎重にならざるをえないが、そういったところも避けずに議論を進めていきたい。</p> <p>小学校でも中学校でも人数が少ない。他の町の事例であるが養護教員の配置がないため市が雇用している中学校もある。その他にも事務員がない小学校へ庄原市が雇用した事例もある。出生数がわかり将来何名の入学児童かが把握できる中で、子どもたちの将来について現状を含めて考えざるをえない。文科省からは小学校一年生の児童が片道一時間以上かけてバスなどで通学することは推奨していない。保護者の考え、地域の考え、自治振興区の考え、その三者の認識で統廃合を望まなければ統廃合できない状態である。その中で子どもたちの教育にとって一番ベストを考えていかなければいけない時期になってきていると思う。早めの対応をすることも重要である。</p>
<p>Iターンで総領町に住み、初めてこのような会に参加した。我々の主張したい事も先輩たちとの共通認識が出来ていると改めて感じた。まだまだ先輩方にも頑張ってもらいたい。</p>	<p>若い世代も一緒に頑張っていきましょう。</p>

7. 議会に対する意見・要望

NO. 6 庄原地域山内地区

参加者意見	議員意見
<p>住民告知放送で議員の声を届ける方法はないか。例えば一般質問の内容を流せば You Tube で視聴できない高齢者層も議員の声が聞ける。そういった活用方法はないのか。</p>	

NO. 16 東城地域新坂地区

参加者意見	議員意見
<p>来年の市民と語る会のメンバーは、出来る限り今年と同じメンバーで来ていただきたい。</p>	

NO. 20 総領地域総領地区

参加者意見	議員意見
<p>総領町のコンパクトシティ化の実現のために、ぜひとも特別委員会を立ち上げて取り組んでいただきたい。</p>	

8. 執行者に対する意見・要望

NO. 4 庄原地域東地区

参加者意見	議員意見
南海トラフのような大災害について、庄原市の対策を広報誌などで広く広報して欲しい。	
市営バスの時刻表が破損で見えない。ネットで時刻表を確認できるが高齢者などに不慣れな状態である。	

NO. 6 庄原地域山内地区

参加者意見	議員意見
今年の夏に山内小学校のプールが故障した。夏に子どもがプールの授業を受けられないのは問題である。9月に修理予定と聞き、その後の進展がわからない。来年度は、必ず子ども達が自分の小学校で水泳の授業を受けることができる体制を整えて欲しい。	

NO. 7 庄原地域本村地区

(1) 蘇羅比古神社周辺の市道改良工事の進捗状況と神社に関する駐車場の必要性について

参加者意見	議員意見
<p>春、秋や花桃の咲く時期には近隣の市町村から多くの方が花見に訪れている。こうしたなか、地域の人々の往来が支障されることも多々ある。市道は改良工事の説明と測量の杭打ちだけ済んでいるが、土地に関することは済んでいない状況。早期の工事開始を要望するとともに、駐車場の整備も併せて要望する。</p> <p>不明な土地の所有者が明らかになるのを待つのではなく、話のついでしているところから、進めてほしい。地元としっかり意見交換してほしい。</p> <p>令和4年度以降、地元への説明がない状況、進捗していない状況も説明が必要。</p>	<p>所有権の不明な土地があり進捗していない状況。要望を担当課と共有し、直近の状況を連絡するよう求める。</p>

(2) 水道工事について

<p>本村地区の水道対策について聞きたい。井戸水をくみ上げるとフッ素等が検出され、ろ過や除去のための施設が必要であるが、非常に高額である（80万円～100万円）。市の助成が必要。</p>	<p>市の助成事業があると認識している。</p>
<p>市の事業は、導入時の補助であり、更新に係るものはない。</p>	<p>企画建設委員会で検討する。</p>

(3) 地域交通について

<p>免許返納者の交通の確保が必要。普通2種免許取得のための市の補助等について検討してほしい。芸備線確保の取り組みも必要だが、地域交通の確保も必要。</p>	<p>検討する。</p>
--	--------------

(4) 河川の整備について

上谷川の整備（崩壊、倒木の撤去等）に向けた働きかけをしてほしい。	企画建設委員会として承る。
----------------------------------	---------------

(5) 防犯対策について

防犯カメラの設置を検討してほしい。	本年発生した東城町の殺人事件以来、防犯対策の強化に関する要望が多い。検討する。
-------------------	---

NO. 11 東城地域八幡地区

参加者意見	議員意見
八幡自治振興センター裏の道路整備をお願いしたい。用地についても地域から提供されており、登記も済んでいる。早期に工事の着工をお願いしたい。	
庄原市と大阪間の高速バスを復活させてほしい。その区間のバスは時期によれば増便が出るほど利用者がいた。	

NO. 9 東城地域田森地区

参加者意見	議員意見
防犯カメラの設置推進を、ぜひお願いしたい。リレー捜査などで犯人が捕まるため防犯カメラを多く設置できるようにしたい。	
防災訓練等で田森自治振興センターに集まっても、電波が届かずに圏外である事が多いため困っている。田森自治振興センターのWi-Fiを有効活用できないか。	
市道の管理は広範囲であり人力に限界を感じるため、機械の購入についても進めて欲しい。	

NO. 16 東城地域新坂地区

参加者意見	議員意見
通院のための交通の確保は、優先事項として受け取ってもらいたい。	
You 遊さるん東城のトイレを早期に改修してもらいたい。	
今まで以上に国道、県道の整備について働きかけて欲しい。久代から神龍湖の県道が特段に悪い。	

NO. 20 総領地域総領地区

参加者意見	議員意見
庄原 IC から東城 IC 間を無料にするとかで、庄原市内の交流の活性化が欲しい。難しいと思うが何とかして地域連携を発展させてほしい。	

環状線のような道路があれば地域連携につながるのではないかと。林道の有効利活用を様々な視点で考えて欲しい。	
芸備線の活用についてだが、宝塚歌劇団とラ・フォーレと庄原市民会館で連携して、地域活性化に生かして欲しい。	
コンパクトシティ計画内で先ほども話になっていたが、市営住宅を自治振興区管理として、子育て世代が長く総領町へ住まえる形を実現して欲しい。	
県立高校であるが、府中市にある上下高校が新しい取り組みで入学者を増やした。個人で野球部の設備投資や SNS を活用していた。卒業生として希望を持てた。庄原市として、やれる事とやれない事があると思うが、庄原市としてもそういった活動に取り組んで欲しい。	
地域の住民の QOL（生活の質）を上げて欲しい。生活困窮者の QOL を DEI（多様性、公平性、包括性）の視点を持って議員は取り組んでいただきたい。コンパクトシティ計画は将来的な可能性を持っているため、先ほどの視点を持ち、困っている地域のために活動して欲しい。	

9. 市民と語る会の検証結果

(1) 開催会場の設定数について

【実施状況】

- ① 井戸端スタイル 3件
- ② 自治振興区 20会場（庄原8・西城1・東城7・口和1・高野1・比和1・総領1）

検証結果

- 井戸端スタイルを本年度も継続実施した。結果、3件の申し込みがあり、申し込み件数は昨年度と同数であった。申込みされた方自らが設定したテーマに対し、意見交換ができることなどからアンケート結果は非常に高評価であった。今後は、より多くの方に申し込ただけのような周知手法について検討が必要である。
- 今年度は20自治振興区での開催となった。各自治振興区それぞれが抱えている課題に即したテーマ設定がなされたことで、アンケート結果から全体としての感想は高評価であったが、時間が少ないと感じた、意見や答弁時間を区切って欲しい等の意見もあり、課題改善に向けた検討が必要である。

(2) 開催時期等について

【実施状況】

① 井戸端スタイル

《開催結果》 11月：2件 1月：1件

※11月1日～1月30日まで（12月を除く）

《実施時間》 平日を基本に昼夜を問わず2時間以内

《日程調整》 申請者の実施希望日の2カ月前に申し込まれ、班の代表者と申請した団体等の代表者で協議し決定

② 自治振興区

《開催回数》 開催を希望する自治振興区で年1回

《開催時期》 10月10日～11月21日

《実施時間》 平日を基本に昼夜を問わず2時間以内

《日程調整》 班の代表者と自治振興区の代表者で協議し決定

検証結果

- 改選期であったことなどから実施期間が短くなったが、申込み件数は昨年度と同数であった。来年度は実施期間を拡大するなどし、多くの申し込みが可能な手法を検討する。
- 自治振興区については、改選期でもあったことから全ての振興区に開催を依頼した。時間については、平日を基本に昼夜を問わず2時間以内としたが、自治振興区との協議によりこれまで通り平日夜間の開催となった。

(3) 実施内容等について

【実施状況】

① 井戸端スタイル

- ・ 申込時に希望された分野に基づき、班の代表者と申込団体等で協議しテーマ設定を行う。
- ・ 参加者を対象にアンケートを実施

② 自治振興区

- ・ 開催会場毎に希望される分野に基づき、協議してテーマ設定を行う。
- ・ 参加者を対象にアンケートを実施

検証結果

- 井戸端スタイルについては、申請者が希望するテーマを設定し、そのことを目的に参集された方々との意見交換であるため、非常に活発なやり取りが行われた。アンケートについても、非常に高評価であり、取り組みの継続を望む意見が多くみられた。
- 自治振興区については、アンケートの結果から、継続を望むものも多くあったが、引き続き動員等で参加をされている状況が見られた。また、進行に対する課題提起をされる意見が多く見られた。
- アンケートは実施結果を客観的に判断できるツールであるため、次年度以降も引き続き実施する。

(4) 班編成について

【実施状況】※井戸端スタイル、自治振興区共通

- ・ 議長を含む5人単位で4班編成を基本とするが、議員数の関係で1班は4人。
- ・ 自治振興区全20会場に対し1班が6会場、2～3班が5会場、4班が4会場を担当
- ・ 井戸端スタイルは申込があった毎に、自治振興区で決定した対応順の続きで対応する。

検証結果

- 都合で欠席せざるを得なかった議員もあったが、欠員が生じても運営、進行に支障をきたすことなく対応できた。本年度は新人議員が多いことから、正副議長が協議の上、班編成を決定した。前年同様、各常任委員会から必ず1名が班に加わる状況を確認したことで、市民から出された様々な意見に対応することができた。今後も常任委員会を基本とした班編成とする。

(5) 運営等について

【実施状況】※井戸端スタイル、自治振興区共通

- ・ 役割分担は各班で決定し、記録は班員（記録者）による要点記録とする
- ・ 時間配分は2時間以内とし、各班で時間配分を決定
- ・ 井戸端スタイルは原則申請者の進行により実施
- ・ 自治振興区は次のとおり進行、実施
受付（アンケート配布）→開会（挨拶）→趣旨説明等→意見交換・懇談→閉会（挨拶）
- ・ 配布資料は各班で準備（共通テーマ分については、班長会議によりすり合わせを行い同一の資料で対応）

- 役割分担、時間配分は各班において決定した。報告書は記録者が作成後、班長に提出し、班内で内容を確認したものを実施日から1週間以内に事務局へ提出することとしていたが、確認に時間を要するなどしたため期限内に提出ができなかった班もあった。提出期限の見直しが必要である。
- 配布資料の調整は各班で対応することとし、レジュメ及び資料の印刷及び手持ち資料の議員所有タブレットへの掲載は事務局が行った。
- 会場レイアウトについては教室形式の会場が多かったが、参加者が発言しやすい雰囲気づくりのために車座形式で行った会場もあった。今後も状況に応じ臨機応変に対応する。

(6) 周知方法について

【実施状況】※井戸端スタイル、自治振興区共通

- ・ 行政文書（9/19発行）で開催チラシを各戸配布。
- ・ 住民告知放送、市議会ホームページへの掲載、庄原市公式LINE配信
- ・ 議員の積極的な働きかけ等

検証結果

- 行政文書によるチラシの各戸配布、住民告知放送、市議会ホームページへの掲載のほか、各議員から地域に出向いた際に案内することなどで周知を図った。行政文書によるチラシ配布開始日のタイミ

ングで、市内全域に向け夕方と朝にそれぞれ一度放送したが、募集から実施まで、期間が短く、また、井戸端スタイルについては、申込み件数が昨年度と変化していない状況もあるため、適切な情報発信のあり方について検討する。

- その他、他の有効な周知方法について随時検討し、より良い方法を検討する。

(7) 災害等による開催可否の対応について

【実施状況】※井戸端スタイル、自治振興区共通

- ・ 災害等による開催可否の判断は開催時間の2時間前に決定。
- ・ 延期、中止等の対応をあらかじめ調整

検証結果

- 今年度は、大きな混乱をきたすような状況には至らなかった。今後も、事前に申込代表者や自治振興区と災害時等の対応を調整しておき、いざという時に混乱なく対応ができるようにする。

(8) 報告及び公表について

【実施状況】※井戸端スタイル、自治振興区共通

- ・ 実施内容を議員全員協議会で報告し、議員間で情報共有及び意見交換を実施
- ・ 成果、効果及び今後の課題等を検証
- ・ 語る会で出された市民の意見、要望等は、一般質問や所管事務調査及び予算審査等に活用
- ・ 最終報告書を市議会ホームページに掲載
- ・ 実施概要を、しょうばら市議会だより（2/20発行）に掲載

検証結果

- 各班から提出された報告書に基づき、本報告書作成及びアンケート結果の集約を行い、議会運営委員会・議員全員協議会にて成果、効果及び今後の課題等の検証を行った。
- 最終報告書については、市議会ホームページに掲載する。
- 今年度の市民と語る会の実施結果概要について、議会広報委員会に諮り2/20発行の市議会だよりに掲載する。
- 市民と語る会は意見交換を目的としたものであり、各会場で出された意見・要望に対しては議員各自の思いや判断で回答しているため、議会としての対応は行わないが、委員会で取り上げるべきものと判断したものについては委員会へ諮り、また、議員個人が必要と判断した場合は一般質問や予算審査等で取り上げていくこととしており、今後も継続する。
- 委員会活動や一般質問等で取り上げた内容は、適宜、市議会ホームページや市議会だよりに掲載し公表する。

(9) その他について

【実施状況】※井戸端スタイル、自治振興区共通

- ・意見交換に重点を置いた内容とし、一議員としてテーマや意見交換での発言を積極的に実施した
- ・自治振興区での取り組みでは、司会役の議員がより多くの参加者が発言できるよう配慮した
- ・議会に対する意見、要望には結論を出さず、市民意見の聴取を目的とした意見交換に努めた
- ・執行者に対する意見、要望には、執行者に代わって受け付けたと取られない対応に配慮した

検証結果

- 一部の会場では、同じ参加者や議員に発言が集中する場面があり、アンケートの中では発言時間を区切って欲しい等の意見があった。
- 昨年度同様、議会や執行者に対する意見・要望は聴取に努め、今後の議員活動に反映させていくこととした。